



LCD モニター

ユーザー ガイド

DesignVue デザイン モニター | PD シリーズ

AQCOLOR®
Colors You Can Trust

著作権

Copyright © 2022 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

フリッカーフリーの性能は、ケーブルの品質、電源の安定度、信号への干渉の有無、アースの品質等の外的要素をはじめ、さまざまな要素により影響を受けます。(フリッカーフリーモデルのみが該当します。)

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase. Check out BenQ's CSR Website at <http://csr.BenQ.com/> for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



製品サポート

常に最新かつ正確な情報をお客様にお届けするために、内容が予告なく変更される場合があります。本書の最新版およびは、ホーム他の製品情報はホームページでご覧いただけます。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域 / 国によって異なります。
 - ・ユーザーマニュアルおよび関連ドキュメント
 - ・ドライバとアプリケーション
 - ・（EU のみ）解体について：ユーザーマニュアルのダウンロードページからご覧いただけます。本書は 規定 (EU) 2019/2021 に基づき本機を修理またはリサイクルするために提供されています。保証期間内の補修については、必ずお住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。保証外の製品の補修を希望される方は、互換性を確保するために専門のサービススタッフにお問合せになり、BenQ からパーツを取り寄せるようお勧めします。お客様ご自身で解体する場合は、お客様ご自身の責任において行ってください。本機の解体に関する情報が見つからない場合は、お住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。

EPREL 登録番号：
PD2705U：908202
PD2705UE：908210
PD2705UA：1335500
PD3205U：943566
PD3205UE：943609
PD3205UA：1335501

Q&A インデックス

知りたいトピックを選択してください。

セットアップ

モニターを設定して電源を入れるには？

| | |
|---------------------------------------|----|
| 安全のために | 6 |
| モニターハードウェアの取り付け方法（スタンド付きのモデル） | 19 |
| モニターハードウェアの取り付け方法（エルゴアームスタンド付きモデルの場合） | 28 |

モニターの高さを調整するには？

| | |
|-----------|----|
| モニターの高さ調節 | 38 |
|-----------|----|

モニターを壁に取り付けるには？

| | |
|----------------------|----|
| モニター取り付けキットの使用法（別売り） | 41 |
|----------------------|----|

メニューとアクセサリ

OSD メニューの使い方

| | |
|------------------------|----|
| 5ウェイコントローラと基本メニュー操作 | 43 |
| Hotkey Puck G2 とその基本操作 | 47 |
| メインメニューのナビゲート | 57 |

頻繁に使う機能やメニューのホットキーを設定できますか？

| | |
|-----------------------------------|----|
| ホットキーのカスタマイズ | 45 |
| Hotkey Puck G2 のコントローラキーをカスタマイズする | 48 |

付属のコントローラ (Hotkey Puck G2) を使用するには？

| | |
|------------------------------|----|
| モニターに Hotkey Puck G2 を接続します。 | 23 |
| Hotkey Puck G2 とその基本操作 | 47 |

入力源とカラー設定

入力源を切り替えるには？

| | |
|-------------------|----|
| PC ビデオケーブルを接続します。 | 22 |
| 信号入力 | 58 |

特定の状況に合った推奨されるカラー設定がありますか？

| | |
|--------------|----|
| 適切なカラーモードの選択 | 49 |
|--------------|----|

カラーモード毎に使用可能なメニューオプションは？

| | |
|------------------------|----|
| 各カラーモードで選択可能なメニューオプション | 64 |
|------------------------|----|

HDR コンテンツを見るには？

| | |
|---------------|----|
| HDR テクノロジーを使う | 55 |
|---------------|----|

Mac 製品の接続方法

| | |
|----------------|----|
| Mac シリーズ製品との連携 | 49 |
|----------------|----|

効率を高める便利なツール

| | |
|---|----|
| 1組のキーボードとマウスで2台のコンピュータを操作するには？ | |
| 2台以上のビデオソースで1組のキーボードとマウスを共有する (CPU切替器) | 50 |
| モニターの画面を分割して2つの入力源から同時に画像を表示するには？ | |
| 同時に2つの入力源を表示する (PIP/PBP) | 54 |
| 異なるカラー設定の画像を同時にプレビューするには？ | |
| 同一画像で異なる色設定で作業をする (デュアルビュー) | 55 |

メンテナンスと製品サポート

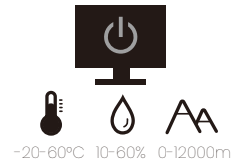
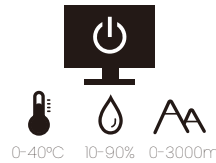
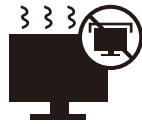
| | |
|-----------------------------------|----|
| モニターのお手入れ方法 | |
| お手入れと清掃 | 8 |
| モニターを長期間使用しないときの保管方法 | |
| スタンドベースの取り外し (スタンド付きのモデル) | 26 |
| スタンドベースの取り外し (エルゴアームスタンド付きモデルの場合) | 36 |
| お手入れと清掃 | 8 |
| 続けてサポートが必要です。 | |
| 製品サポート | 3 |
| 保守 | 9 |

安全のために

電源についての安全対策



モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。



- 付属の電源コード以外のものは使用しないでください。
- 付属した電源コードは本機以外の電気機器等では使用できません。
- 機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続して使用してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください、同梱した電源コードセットは本機以外の電気機器で使用できません。破損したり、磨耗したりしている電源コードは絶対にご使用にならないでください。
- (リモコンが付いている場合) 指定された電池以外は使用しないでください。(液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。) 使用済みの電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。
- モニターの故障の原因となりますので、電源供給が安定しない場所でのご使用はお止めください。
- 接地されたコンセントに電源コードを接続してからモニターの電源を入れてください。
- 複数の差込口が付いた延長コードをご使用になる場合は、合計の電気負荷量にご注意ください。
- 電源コードを外す前に必ずモニターの電源を切ってください。

アダプタ付きのモデル：

- 本 LCD モニターに付属の電源アダプタだけをご使用ください。別のタイプの電源アダプタをご使用になると、故障の原因となり大変危険です。
- 機器を操作したり、バッテリーを充電したりするためにアダプタを使用するときには、十分な通気を確保してください。電源アダプタを紙やその他の物で覆わないでください。キャリーケースに入れたままで電源アダプタをご使用にならないでください。
- 電気アダプタを適切な電源に接続します。
- 電源アダプタをお客様ご自身で補修することはお止めください。内部に補修可能なパーツは含まれていません。故障したり、濡れたりした場合には、本体を交換してください。

装着

- 次のような場所ではモニターをご使用にならないでください。
 - 気温が極度に高いまたは低い、あるいは直射日光が当たる場所
 - ホコリが立ちやすい場所

- ・湿度が高い場所、雨に濡れやすい場所、水場の近く
- ・自動車、バス、電車、その他の乗り物の中など、振動や衝撃を受けやすい場所
- ・ラジエーター、ヒーター、石油ストーブ、あるいは発熱源の近く（オーディオのアンプを含みます）などの加熱装置の近く
- ・適切な通気がない密閉された場所（クローゼットや本棚）
- ・不安定な場所、あるいは斜面
- ・化学物質や煙のあたる場所
- ・モニターの持ち運びには十分注意してください。
- ・モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- ・お子様がモニターにぶら下がったり、上ったりしないようにしてください。
- ・梱包材料はお子様の手が届かない場所に保管してください。

操作

- ・視力を保護するために、ユーザーガイドをお読みになり最適なスクリーン解像度と表示距離に設定してください。
- ・目の疲労を縮減するために、モニターをご使用になるときには定期的に休憩を取ってください。
- ・長時間次のような行為はしないでください。焼けた痕が残る場合があります。
 - ・小さすぎてスクリーン全体に表示されない画像を再生します。
 - ・スクリーンに静止画を配置します。
- ・モニターにキズが付きますので、モニターパネルに直接指で触れたり、ペンや先が尖ったモノで触れたりしないでください。
- ・ビデオコネクタを頻繁に接続したり、取り外したりすることを繰り返すと、モニターの故障の原因となります。
- ・このモニターは主に個人使用を対象として設計されています。このモニターを公共の場や苛酷な環境でご使用になる場合は、お近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。
- ・電気ショックの原因となりますので、お客様ご自身でモニターを解体したり、修理したりしないでください。
- ・モニターから異臭がしたり、異常なノイズが聞こえたりした場合は、直ちにお近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。

注意

- ・モニターとの距離は、画面の対角線幅の 2.5 倍から 3 倍を目安にしてください。
- ・長時間スクリーンを見つめたまましていると、眼精疲労を生じさせ視力が低下する場合があります。1 時間作業を行うごとに 5～10 分間目を休めてください。
- ・遠くにある物を見つめることで、目の疲れを軽減できます。
- ・頻繁に瞬きをしたり、目の体操をするとドライアイを防止することができます。

リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合）

- ・リモコンを直接熱源や高湿度の場所に置いたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ・リモコンを落とさないでください。

- ・リモコンを水や液体に濡らさないでください。そうしなければ、故障の原因となります。
- ・リモコンと製品のリモート センサーの間に物を置かないでください。
- ・リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーを外してください。

バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合）

間違ったタイプのバッテリーをご使用になると、化学物質が漏れ出したり、爆発したりする恐れがあります。次の点に注意してください。

- ・バッテリーは必ず極性に注意して、正しい方向に挿入してください。
- ・バッテリーは種類によって異なる特性を持っています。異なる種類のバッテリーを混ぜて使用しないでください。
- ・古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用しないでください。古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用すると、バッテリーの寿命が短くなったり、古いバッテリーから液体が漏れ出したりする場合があります。
- ・バッテリーが破損している場合は、直ちに新しいものに交換してください。
- ・バッテリーから漏れ出した液体が肌に付着すると、皮膚に炎症を起こす場合があります。バッテリーから化学物質が漏れ出した場合は、すぐに乾いた布でふき取り、できるだけ早くバッテリーを交換してください。
- ・保管状況が異なるため、製品に挿入されているバッテリーの寿命が短くなっている場合があります。最初の使用から3カ月以内、あるいはできるだけ早く交換してください。
- ・古いバッテリーの処理、またはリサイクルについては、お住まい地域の規定に従ってください。お近くの行政機関、または廃棄物回収業者にお尋ねください。

付属のリモコンにボタン電池が入っている場合は、次の点にご注意ください。

- ・電池を飲み込まないようにご注意ください。化学物質により火傷をする危険性があります。
- ・本機に付属するリモコンにはボタン電池が入っています。ボタン電池を飲み込んでしまった場合は、2時間で内臓が火傷をする危険性があり、死に至ることもあります。
- ・未使用、使用済みに関わらず電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。バッテリーコンパートメントがしっかりと閉まっていない時には、製品のご使用を中止し、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・電池を飲み込んでしまったと思われる場合、または体内に入り込んでしまったと思われる場合は、直ちに病院を受診してください。

お手入れと清掃

- ・床の上、または机の上に直接モニターを下向きに置かないでください。そうしなければ、パネル面にキズがつく恐れがあります。
- ・機器を操作する前に、建物構造にしっかりと固定されていなければなりません。
- ・（壁および天井取り付けに対応するモデル）
 - ・モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
 - ・壁の素材と標準の壁取り付けブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。
 - ・ケーブルをLCDモニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。

- ・清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニターの電源コードをはずしてください。LCD モニターの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- ・キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニターは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- ・モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- ・モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるとすのために捨てずに保管しておいてください。
- ・電力定格、製造日、ID 表示については、製品ラベルをご覧ください。

保守

- ・本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者にご連絡を取り、保守を依頼してください。
- ・購入店にお問い合わせになるか、Support.BenQ.com からお住まいの国のウェブサイトをご覧ください。






Support.BenQ.com

保証内容

次のいずれかの状況では、モニターの保証は無効となりますのでご注意ください。

- ・保証に必要なドキュメントが許可されない使用により改ざんされた場合、または判読できない場合。
- ・製品に記載されているモデル番号または製品番号が改ざん、削除、はがされた、あるいは判読できない場合。
- ・許可されないサービス組織または人物により補修、変更、あるいは改変された場合。
- ・モニターを不適切な状態で保管したことに起因する破損（直射日光、水、火に当たった場合を含みますが、これらに限りません）。
- ・モニター以外の外部信号（アンテナ、ケーブル TV など）が原因で生じる受信問題。
- ・モニターの誤使用または濫用による故障。
- ・このモニターを対象販売エリア外でご使用になる場合は、ご使用になる前にモニターがその地域の技術規格に合っていることを確認してからご使用ください。そうしなければ製品が故障する場合があります、その場合の補修はお客様でご負担いただくこととなります。
- ・製品出荷時に提供されていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題（データの消失またはシステムの不具合）が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。
- ・電気ショックや火災などの危険性がありますので、アクセサリ類（電源ケーブルなど）は装置に付帯されていたものだけをご使用ください。

表記

| アイコン / 記号 | アイテム | 意味 |
|---|------|--|
|  | 警告 | 誤用や不適切な操作、または行いによって生じるコンポーネントやデータへのダメージ、またはケガなどを防止するための情報です。 |
|  | ヒント | タスクを完了するための便利な情報です。 |
|  | 注意 | 補足的情報です。 |

本書では、メニューを開くための手順は簡略化して記載されています。例：
メニュー > システム > 情報。

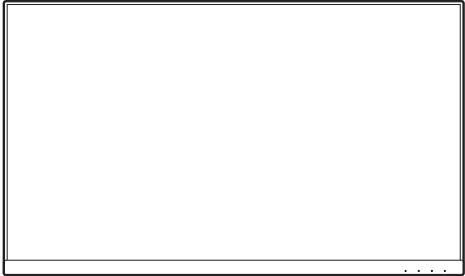
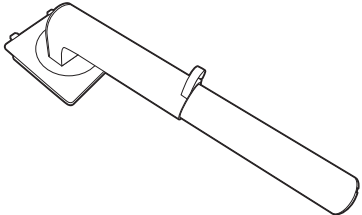
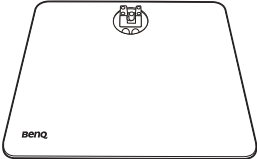
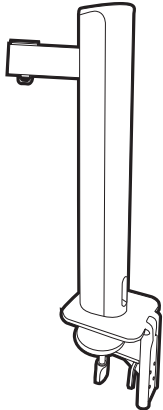
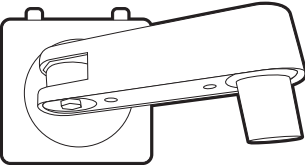
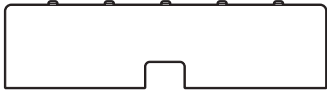

目次

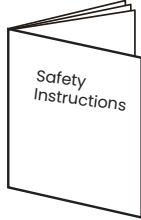

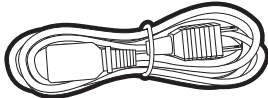
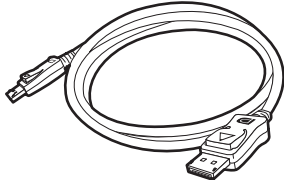
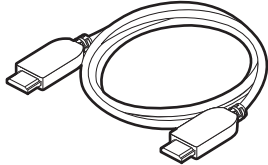
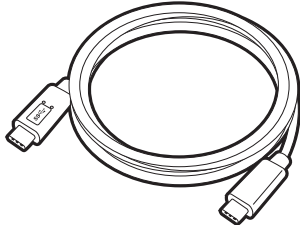
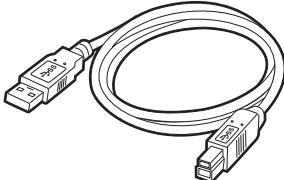
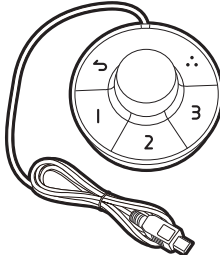
| | |
|---|----|
| 著作権 | 2 |
| 免責 | 2 |
| 製品サポート | 3 |
| Q&A インデックス | 4 |
| 安全のために | 6 |
| 電源についての安全対策..... | 6 |
| 装着 | 6 |
| 操作..... | 7 |
| リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合） | 7 |
| バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合） | 8 |
| お手入れと清掃..... | 8 |
| 保守..... | 9 |
| 保証内容 | 9 |
| はじめに | 13 |
| モニターの外観 | 16 |
| 前面ビュー..... | 16 |
| 背面ビュー..... | 16 |
| 接続 | 17 |
| モニターハードウェアの取り付け方法（スタンド付きのモデル） | 19 |
| スタンドベースの取り外し（スタンド付きのモデル） | 26 |
| モニターハードウェアの取り付け方法（エルゴアームスタンド付きモデルの場合） | 28 |
| スタンドベースの取り外し（エルゴアームスタンド付きモデルの場合） | 36 |
| モニターの高さ調節 | 38 |
| モニターの回転 | 39 |
| 表示角度の調整..... | 40 |
| モニター取り付けキットの使用法（別売り） | 41 |
| モニターの調整 | 42 |
| コントロール パネル | 42 |
| 5ウェイコントローラと基本メニュー操作 | 43 |
| ホットキーを使う | 45 |
| Hotkey Puck G2 とその基本操作 | 47 |
| Mac シリーズ製品との連携..... | 49 |
| 画面モードの調整..... | 49 |
| 適切なカラーモードの選択..... | 49 |
| 2台以上のビデオソースで1組のキーボードとマウスを共有する（CPU切替器） | 50 |
| 同時に2つの入力源を表示する (PIP/PBP)..... | 54 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| HDR テクノロジーを使う | 55 |
| 同一画像で異なる色設定で作業をする (デュアルビュー) | 55 |
| メインメニューのナビゲート | 57 |
| 表示メニュー | 58 |
| カラー設定メニュー | 60 |
| CPU 切替器メニュー | 65 |
| オーディオメニュー | 66 |
| カスタム キーメニュー | 67 |
| システムメニュー | 69 |
| トラブルシューティング | 73 |
| よくある質問 (FAQ) | 73 |
| それでも解決できないときは | 76 |

はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

| | |
|---|---|
| BenQ LCD モニター |  |
| モニター スタンド (スタンド付きのモデル) |  |
| モニターベース (スタンド付きのモデル) |  |
| モニタースタンド (C クランプ、六角 レンチ付き) (エルゴアームスタンド付きモデルの 場合) |  |
| VESA プレート付きアッパーアーム (エルゴアームスタンド付きモデルの 場合) |  |
| 後ろカバー |  |
| クイック スタート ガイド |  |

| | |
|--|---|
| <p>安全にお使いいただくために</p> |  |
| <p>準拠法規</p> |  |
| <p>電源コード (付属アイテムはモデルや地域により異なります)</p> |  |
| <p>ビデオケーブル：DP-DP</p> |  |
| <p>ビデオケーブル：HDMI</p> |  |
| <p>ビデオケーブル：USB-C™</p> |  |
| <p>USB ケーブル</p> |  |
| <p>Hotkey Puck G2</p> |  |



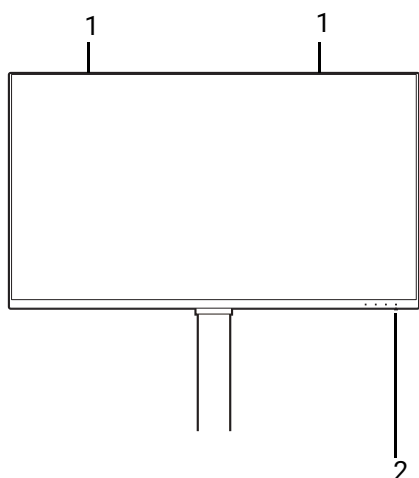
- ・アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品とは異なる場合があります。また、パッケージの内容は将来予告なく変更される場合があります。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。
- ・モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニターを保護するのに適しています。
- ・アクセサリやケーブル等は、製品によって付属または別売りになる場合があります。



製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

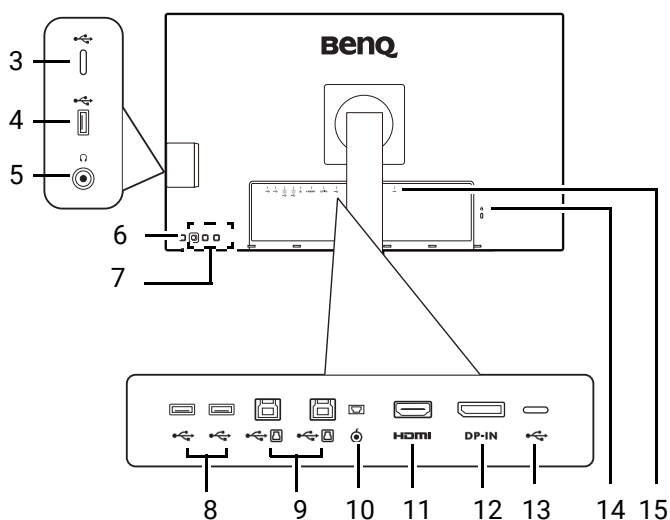
モニターの外観

前面ビュー



1. スピーカー
2. 電源 LED インジケータ

背面ビュー



3. USB-C™ ポート（データ転送専用）
4. USB 3.2 Gen 1 ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
5. ヘッドフォンジャック
6. 電源ボタン
7. コントロールキー
8. USB 3.2 Gen 1 ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
9. USB 3.2 Gen 1 ポート（アップストリーム、PC に接続）
10. Hotkey Puck G2 ソケット
11. HDMI ソケット
12. DisplayPort ソケット
13. USB-C™ ポート（ビデオ、データ転送、電源供給用）
14. Kensington ロックスロット
15. AC 電源入力ジャック

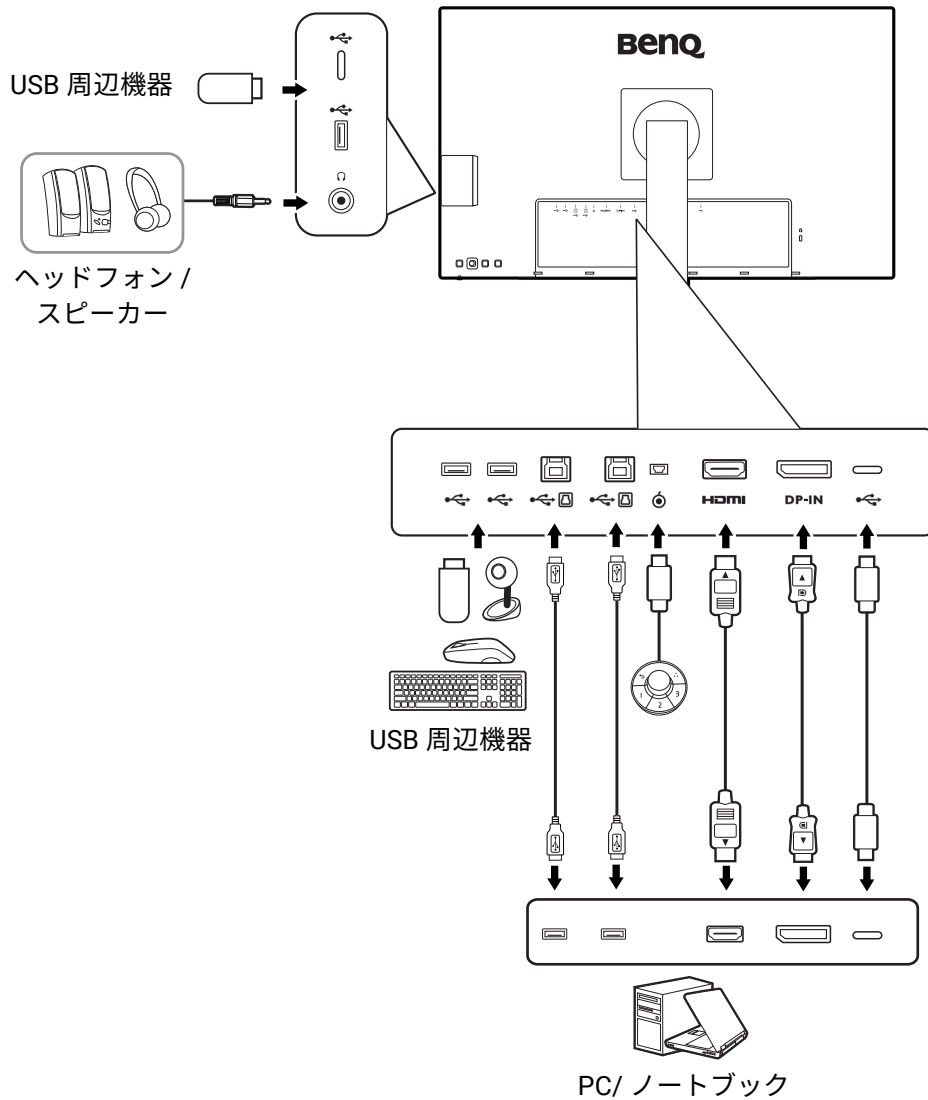


- USB データ転送速度は [71 ページの「USB-C 構成」](#) での選択により変わります。
- 上記の例はモデルにより異なります。
- 地域によって製品図が異なる場合があります。

接続

次の接続図は参照用です。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

接続方法についての詳細は、[22 - 23](#) ページをお読みください。



モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー

パワーデリバリー機能を使用すると、モニターは接続した USB-C™ デバイスに電力を供給することができます。電力量はポートにより異なります。デバイスが作動するのに十分な電力供給が受けられるように、適切なポートに接続されていることを確認してください。

| PD2705U / PD2705UE / PD2705UA | |
|-------------------------------|--------------------|
| USB-C™ 65W (モニター背面) | USB-C™ (モニター左側) |
| 5V / 3A | 5V / 1.5A |
| 9V / 3A | 不可 |
| 12V / 3A | 不可 |
| 15V / 3A | 不可 |
| 20V / 3.25A | 不可 |

| PD3205U / PD3205UE / PD3205UA | |
|-------------------------------|--------------------|
| USB-C™ 90W (モニター背面) | USB-C™ (モニター左側) |
| 5V / 3A | 5V / 1.5A |
| 9V / 3A | 不可 |
| 12V / 3A | 不可 |
| 15V / 3A | 不可 |
| 20V / 4.5A | 不可 |

- 接続したデバイスには、USB パワーデリバリーによる充電機能に対応した USB-C™ コネクタが搭載されていなければなりません。
- モニターが省エネモードのときにも、接続したデバイスに USB-C™ ポートから充電することができます。(*)
- USB のパワーデリバリーは最大で 65W (PD2705U) / 90W (PD3205U) です。接続したデバイスが操作やブートアップに供給された電力以上を必要とする場合は（電池が切れているとき）、正規の電源アダプタをお使いください。
- 情報は標準の試験条件に基づき参照用として提供しております。ご使用環境に違いがあるため、互換性を保証するものではありません。別途購入した USB-C™ ケーブルをご使用になる場合は、USB-IF 認証の電力供給およびビデオ / オーディオ / データ転送機能が付いたケーブルであるかご確認ください。



*: 電源復帰機能を有効にすると、モニターが省エネモード中に USB-C™ で充電することができます。
システム > 電源復帰を開き、オンを選択します。

モニターハードウェアの取り付け方法（スタンド付きのモデル）



- ・モニターベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行ってください。モニターが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。
- ・また、モニターベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- ・次の画像は参照用です。出入力ジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。



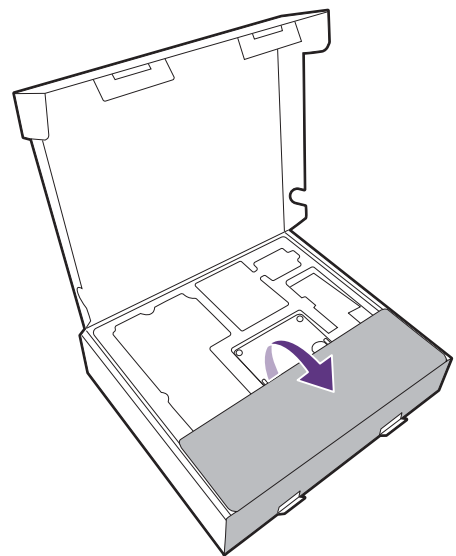
スクリーンの表面を指で強く押さないでください。

1. モニターベースを設置します。

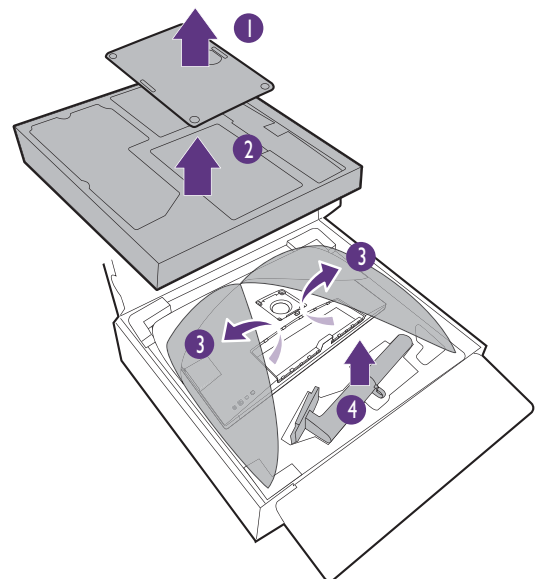


物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

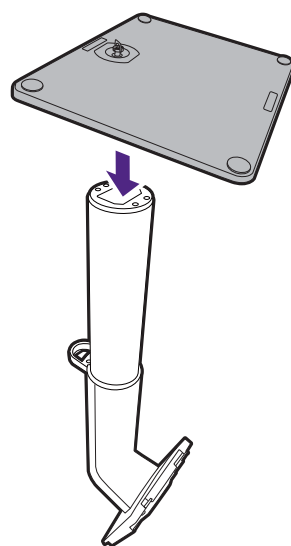
箱を開けると梱包品を簡単に取り出すことができます。



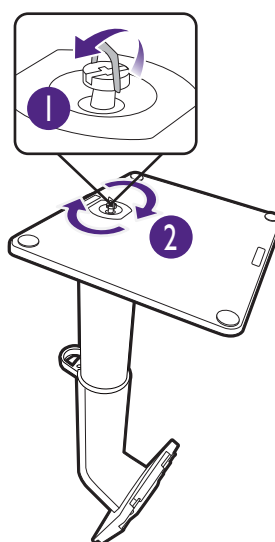
モニターベースとスタンドを取り出します。スタンドアームを露出させるためには、モニターの背面を保護しているクッションと緩衝用ラップを取り外す必要があります。



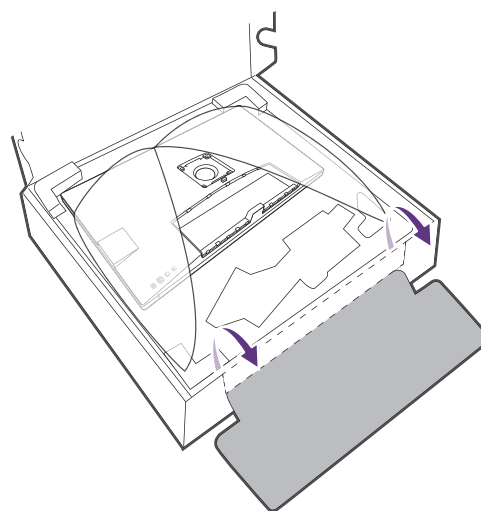
図に示す通り、モニターベースにモニタースタンドを取り付けます。



ネジのつまみを開けて、図に示すとおりネジを締めます。ネジのつまみを倒します。

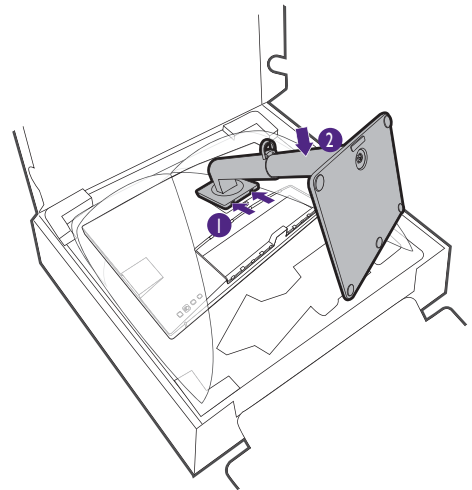


(PD2705U のみ) 図のように箱の手前側を開き、スタンドを取り付けるためのスペースを確保します。

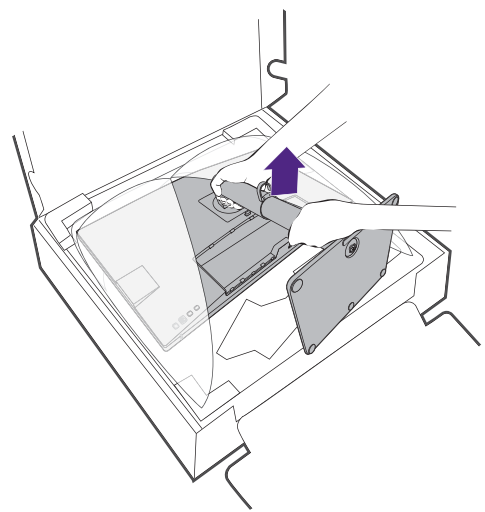


しっかりと固定されるとカチッという音がします。スタンドアームとモニターの向きを合わせて、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください。

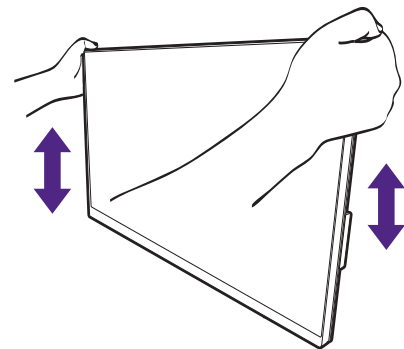
ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。



ゆっくりとモニターを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。



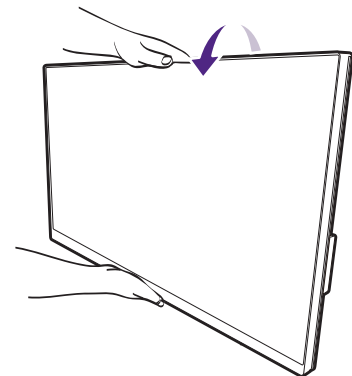
モニタースタンドの高さを調整したい場合があるかもしれません。詳細は、[38 ページの「モニターの高さ調節」](#)を参照してください。



照明の反射を最小限に留めるために、モニターの位置とスクリーンの角度を調整してください。



ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面を指で強く押さないでください。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニターの上部和下部に手を置いてください。ディスプレイを強く押さえないでください。



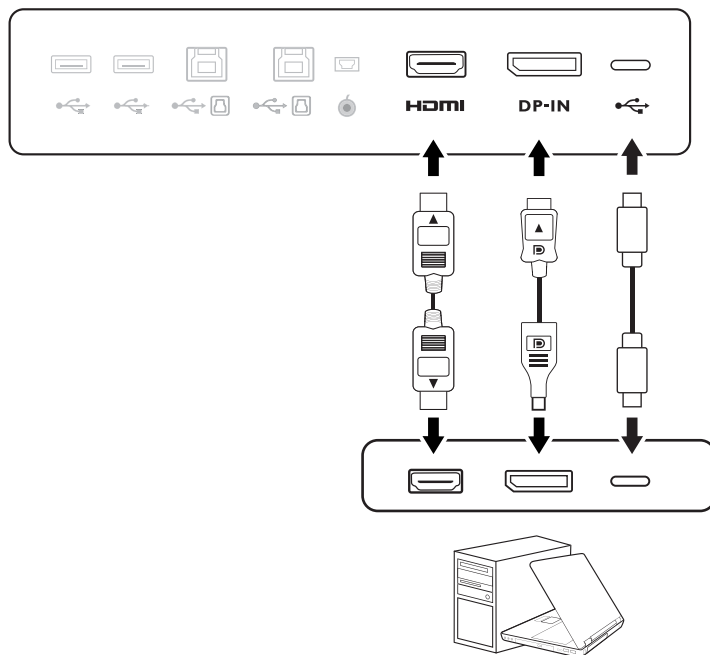
2. PC ビデオケーブルを接続します。



製品に同梱されているビデオケーブルと本書に示すソケットは、お住まい地域で販売される製品によって異なる場合があります。

1. ビデオケーブルを接続します。

- HDMI ケーブルのプラグを、モニターの HDMI ポートに接続します。
- DP ケーブルのプラグをモニターのビデオソケットに接続します。
- 付属の USB-C™ ケーブルをモニターの USB-C™ ポートに接続します。



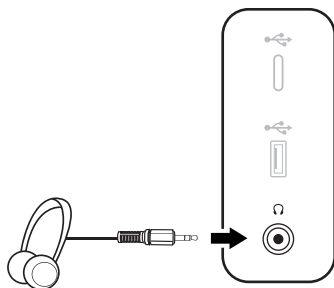
2. もう片方のビデオケーブルをデジタル出力装置（コンピュータなど）のポートに接続します。
3. 使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。



(DP 入力のみ) モニターとコンピュータの電源を入れても画像が表示されない場合は、DP ケーブルを外してください。先にモニターを DP 以外のビデオソースに接続します。モニターの OSD メニューから **システム > 詳細設定 > DisplayPort** を選択し、設定を **1.4** から **1.1** に変更します。設定が完了したら、現在のビデオケーブルを一旦外し、DP ケーブルを接続します。OSD メニューを開く方法は、[43 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」](#)をご覧ください。

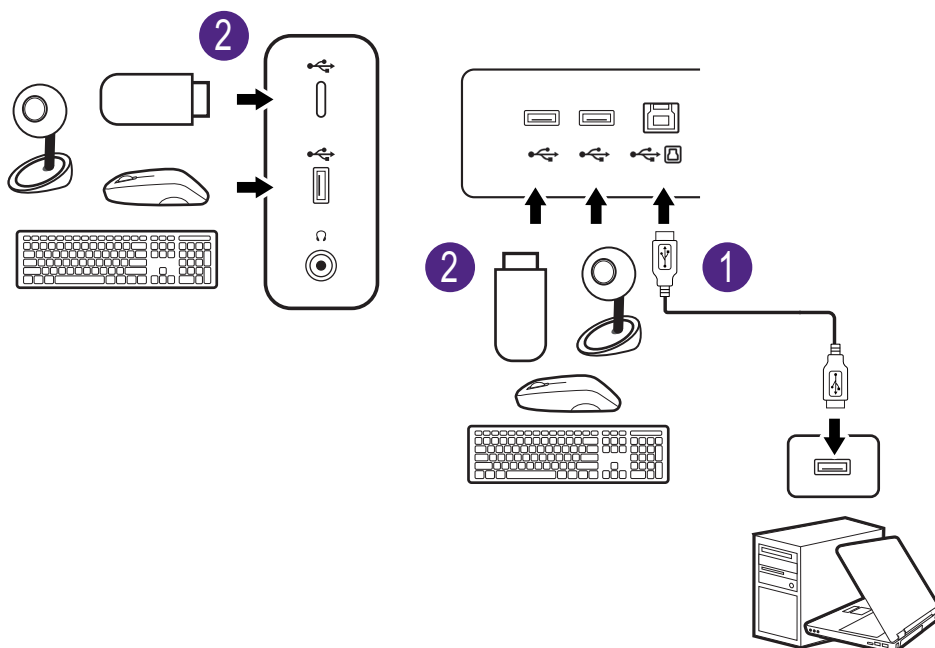
3. ヘッドフォンを接続します。

ヘッドフォンジャックにはヘッドフォンを接続できます。



4. USB デバイスを接続します。

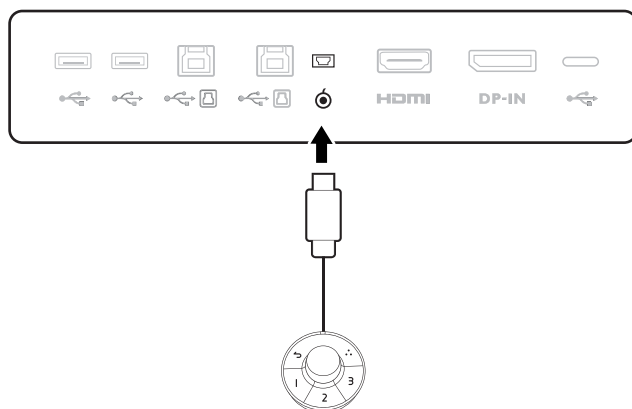
1. USB ケーブルで PC とモニターを接続します（アップストリーム USB ポートを使用）。このアップストリーム USB ポートは、PC とモニターに接続されている USB デバイスの間でデータを通信します。USB-C™ 入力から映像信号を取る場合は、このステップは必要ありません。
2. モニターの別の USB ポート（ダウンストリーム）を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。
3. CPU 切替器を使用する予定であれば、50 ページの「2 台以上のビデオソースで 1 組のキーボードとマウスを共有する（CPU 切替器）」をお読みにになり正しく接続を行ってください。




左右の USB-C™ ポートはダウンストリームポートとして機能し、USB デバイスと接続します。

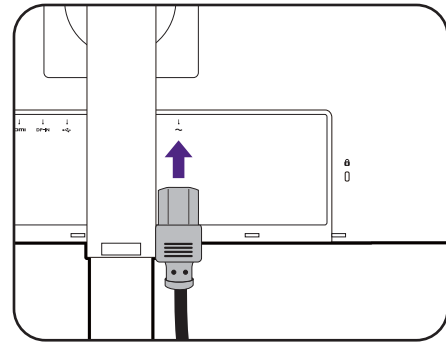
5. モニターに Hotkey Puck G2 を接続します。

Hotkey Puck G2 をモニターの背面にある mini USB ポートに繋ぎます（Hotkey Puck 接続専用）。Hotkey Puck G2 についての詳細は、47 ページの「Hotkey Puck G2 とその基本操作」を参照してください。



6. モニターに電源ケーブルを接続します。

モニターの背面の  と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。この時点では、まだコンセントにプラグを差し込まないでください。

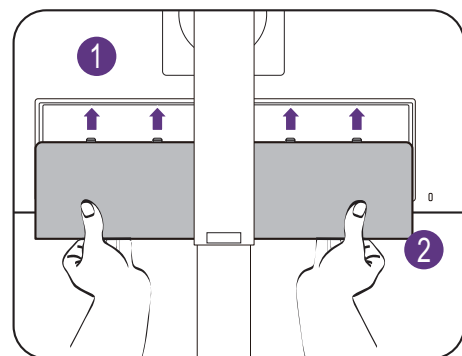
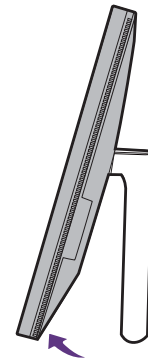


7. 後ろカバーを取り付ける。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次に、モニターを傾けると I/O カバーを簡単に装着 / 取り外しができます。

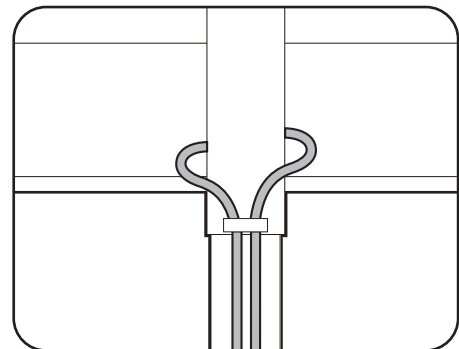
モニターの背面にある穴に後ろカバーを合わせて、両側とカバーの上部を押します。すると、図のように固定されます。

後ろカバーの下部をモニター側に押し固定します。



8. ケーブルを整理する。

ケーブルをブラケットに通します。

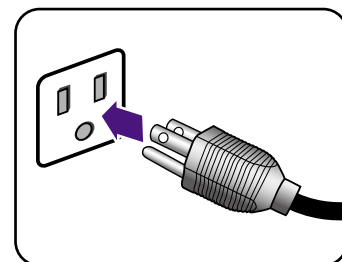


9. 電源に接続し、電源をオンにします。

電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。



地域によって製品図が異なる場合があります。



モニターの電源ボタンを押して、モニターをオンにします。

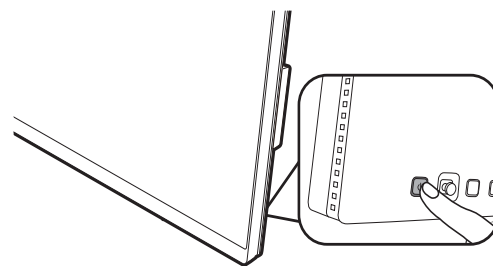
コンピュータもオンにします。



有効な入力アイコンは、モデル毎に異なります。



本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。



スタンドベースの取り外し（スタンド付きのモデル）

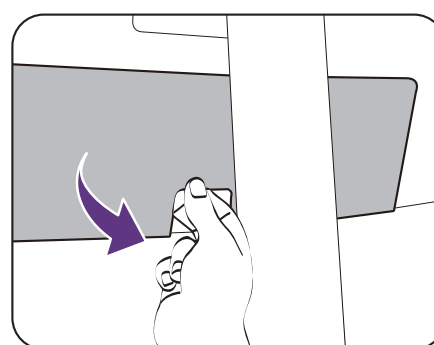
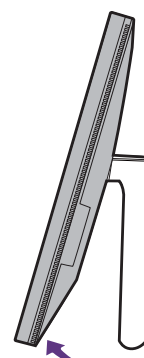
1. モニターと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニターの電源を切ります。モニター信号ケーブルを外す前にコンピュータの電源も切ります。

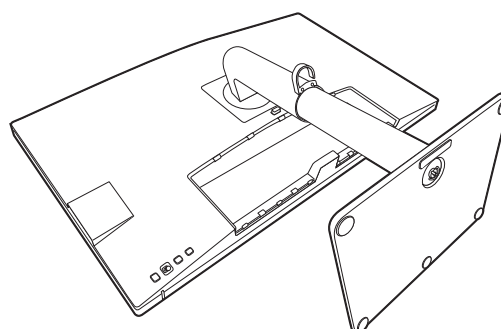
2. 後ろカバーを外します。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次に、モニターを傾けるとI/Oカバーを簡単に装着 / 取り外しができます。

図に示すように、後ろカバーを下の方から外します。すべてのケーブルを注意しながら外します。



ベースを取り外す際モニターとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。

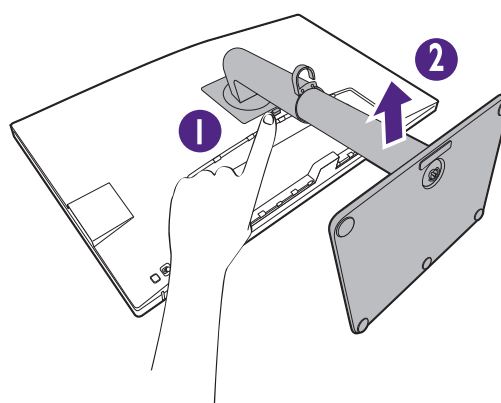


- 物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

3. モニタースタンドを外します。

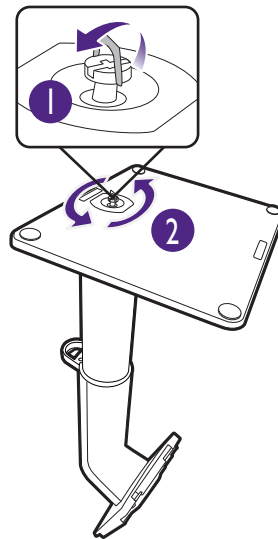
クイックリリースボタンを押したままにして、スタンドをモニターから外します。

- 壁に取り付けるために、モニタースタンドが外してある場合は、41ページの「モニター取り付けキットの使用法（別売り）」および壁取り付け用ブラケット（別売り）の取り扱い説明書をお読みください。

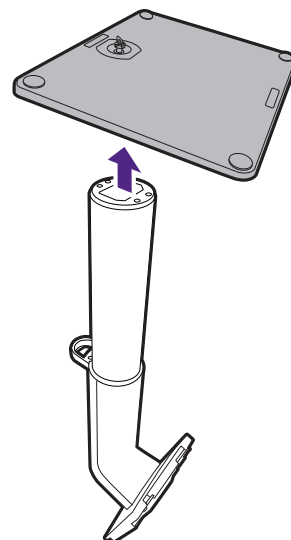


4. モニターのベースを外します。

モニターベースの底部にある蝶ネジを弛めます。



スタンドからベースを外します。



モニターハードウェアの取り付け方法（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）



- エルゴアームスタンドは、同梱のモニターの重量を支えるために調整およびテストされ、スムーズで安定した動作を実現しています。エルゴアームスタンドを他のモニターに取り付けると、けがや故障の原因となることがあります。
- モニターベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行ってください。モニターが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。また、モニターベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- 次の画像は参照用です。出入力ジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。



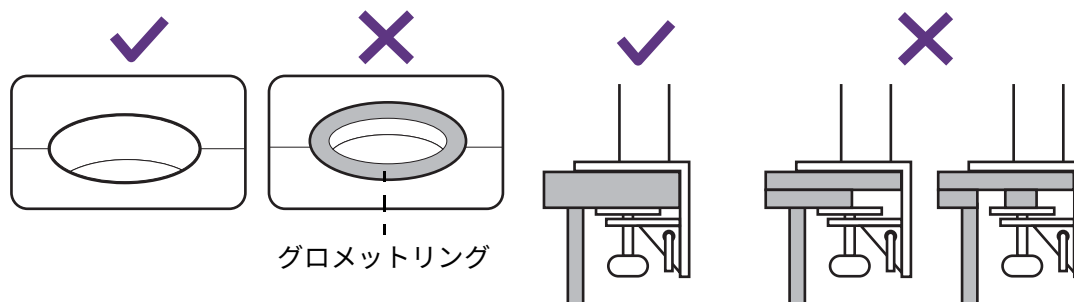
スクリーンの表面を指で強く押さないでください。

1. アームの取り付け位置を確認します。

机は平らな場所に置き、エルゴアームスタンドとモニターの重量を支えることができる安定したものでなければなりません。

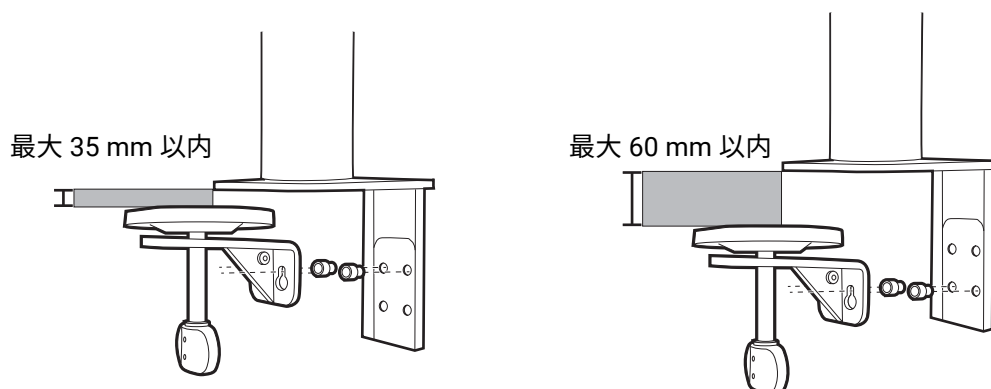
エルゴアームスタンドは、クランプとグロメットに対応し、ニーズに合わせて取り付けが可能です。高さや可動域を調整するための十分なスペースがあることを確認してください。

アームは、グロメットリングや突起物のない平らな机の上に固定してください。

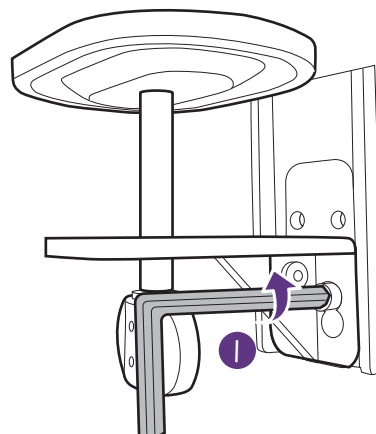
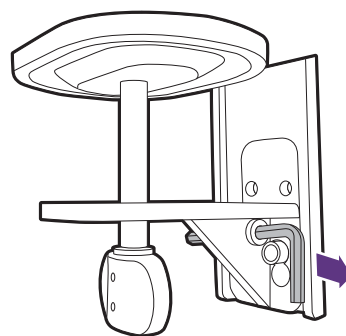


2. 机の厚みを確認します。

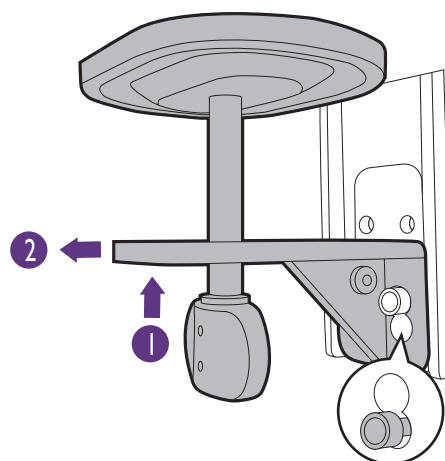
デスクの厚みによって、Cクランプを固定するネジの位置を変えることができます。



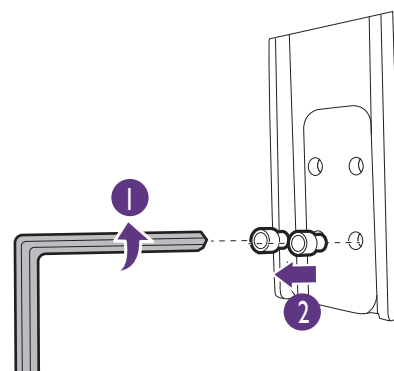
1. 付属の六角レンチを使用して、C クランプを固定しているネジを半分緩めます。



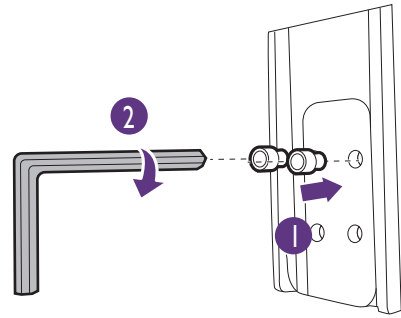
2. C クランプを上を持ち上げて、取り外します。



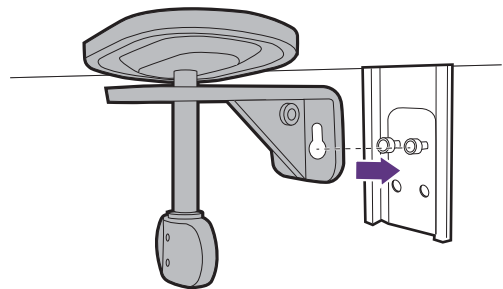
3. ネジを完全に取り外し、もう一組のネジ穴にネジを締め付けることができますようにします。



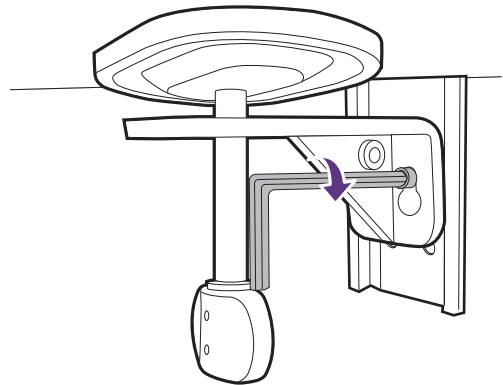
4. もう 1 組のネジ穴にネジを半固定します。



5. C クランプをネジに取り付けます。



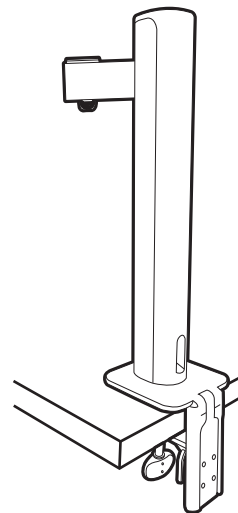
6. ネジを締めます。



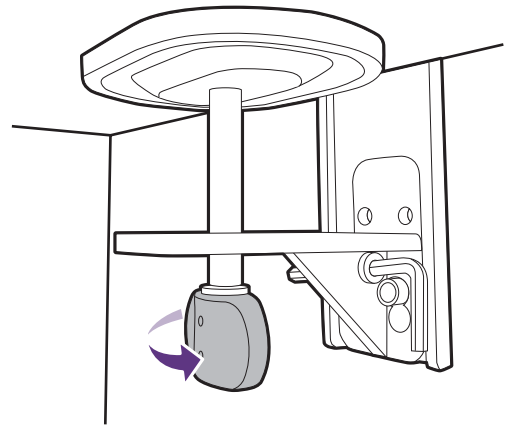
3. エルゴアームの取り付け方法を決めます。

A. クランプマウント

a. スタンドアームをデスクの端に取り付けます。

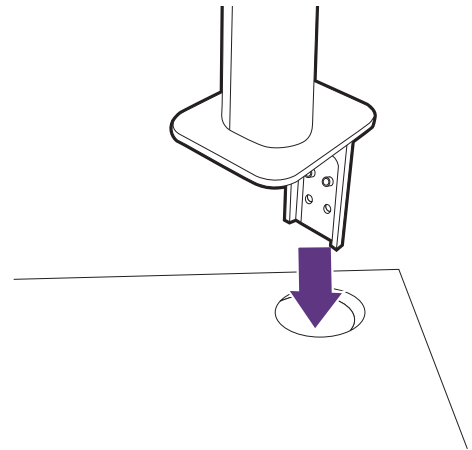


- b. ハンドルを反時計回りに回すと、デスクに固定されます。

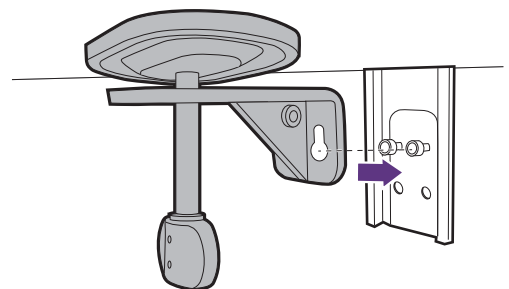


B. グロメットの取り付け

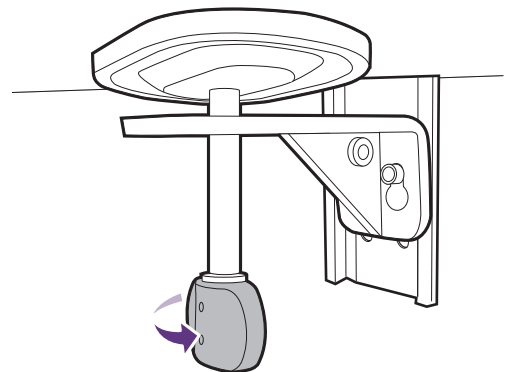
- a. 28 ページの「机の厚みを確認します。」のステップ 1 から 2 で説明されているように、C クランプを取り外します。
- b. スタンドを任意の場所に設置します。スタンドは平らな面に固定する必要があるため、グロメットリングがないことを確認してください。



- c. 28 ページの「机の厚みを確認します。」のステップ 5 からステップ 6 で説明されているように、C クランプをスタンドに取り付け、ネジを締めてください。



- d. ハンドルを反時計回りに回すと、デスクに固定されます。



5. モニターヘッドをマウントします。

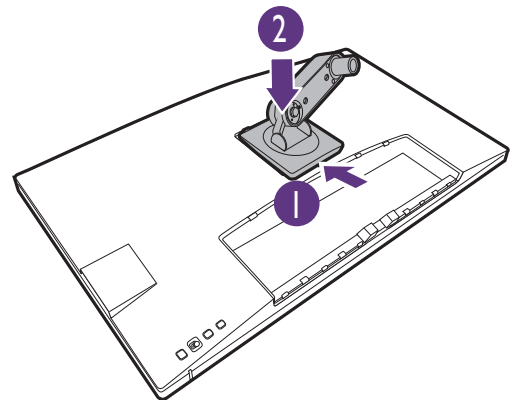
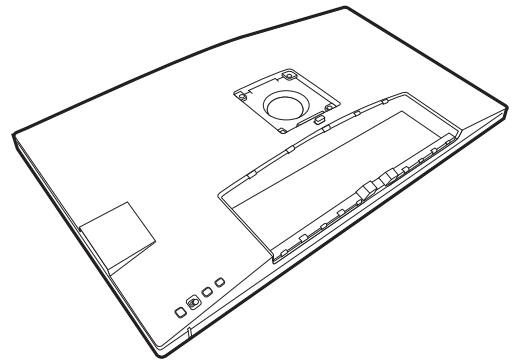
モニターのお手入れは、モニターとスクリーンを保護するために安定した平らな場所で行い、ショック防止用にモニターの梱包袋などの柔らかい素材を置いてください。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所にゆっくりと寝かせてください。

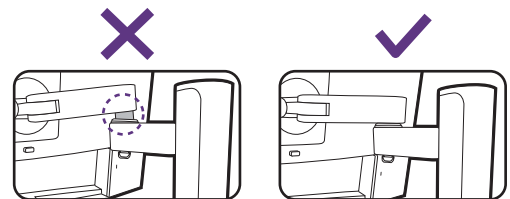
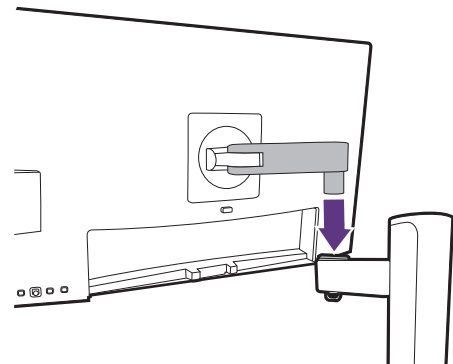


物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

図のようにアッパーアームをモニターにロックされるまで取り付けます。

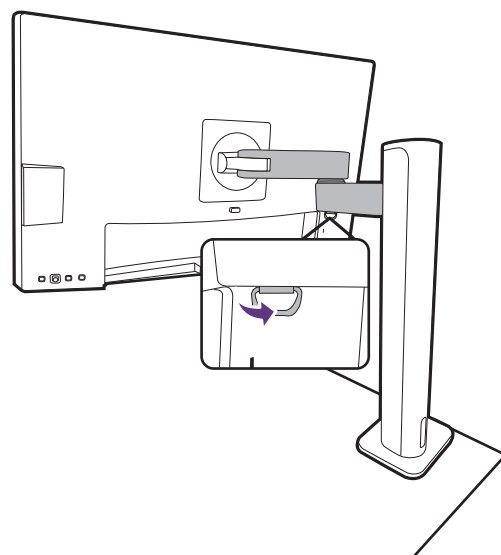


アッパーアームをモニタースタンドに合わせ、金属部分が見えないように正しく設置します。



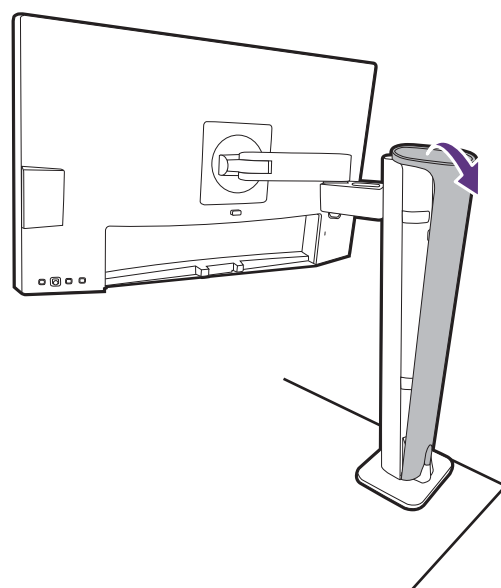
ネジのつまみを開けて、図に示すとおりネジを締めます。ネジのつまみを倒します。

前の手順でアップアームが正しく取り付けられていれば、イモネジを締め付けることができます。



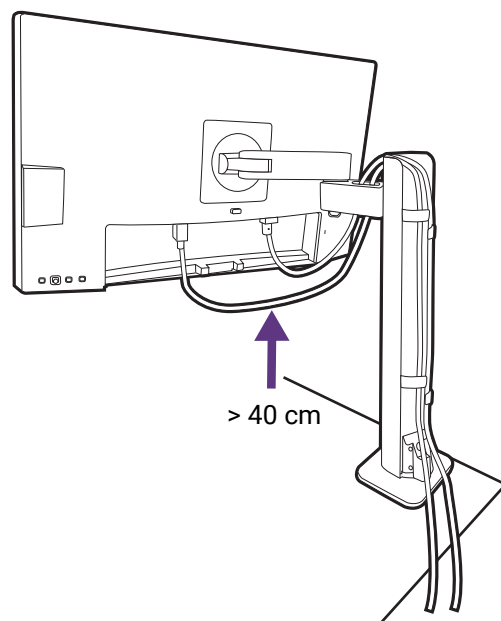
6. ケーブル類を接続し、整理します。

ケーブルマネジメントカバーを取り外します。

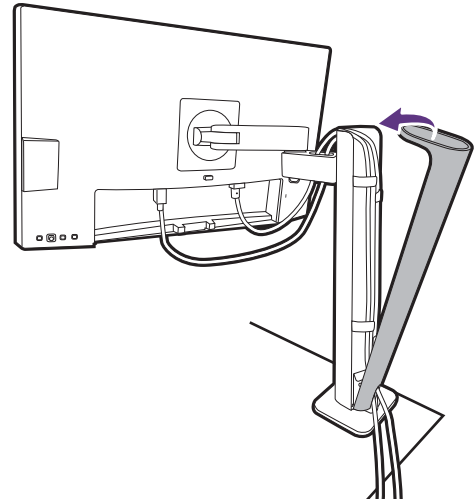


ケーブル類を接続し、整理します。接続については 22 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」から 24 ページの「モニターに電源ケーブルを接続します。」を参照してください。

モニターを傾けたり、アームを動かしたりしたときに、コネクタが不用意に引き出されないように、ケーブル（モニター付近）にたるみを持たせることを忘れないでください。



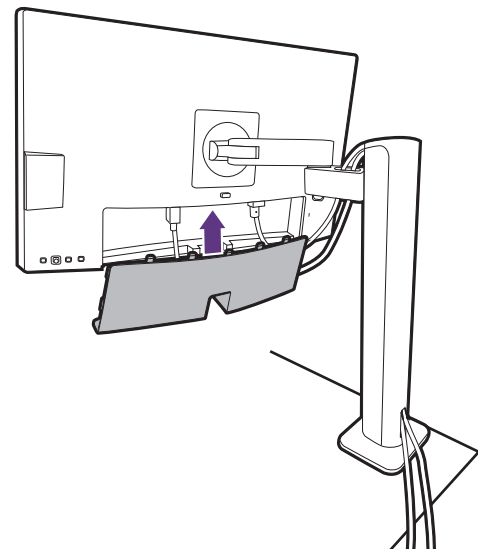
ケーブルマネジメントカバーを元に戻します。



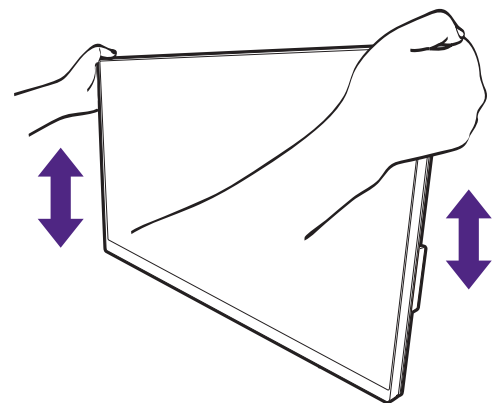
7. I/O カバーを閉めます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次に、モニターを傾けると I/O カバーを簡単に装着 / 取り外しができます。

I/O カバーをモニター背面の穴に合わせて、カバーの端と底部を押してしっかりとロックしてください。カバーの底面から押して、正しく設置できたか確認します。



モニタースタンドの高さを調整したい場合があるかもしれません。詳細は、[38 ページの「モニターの高さ調節」](#)を参照してください。

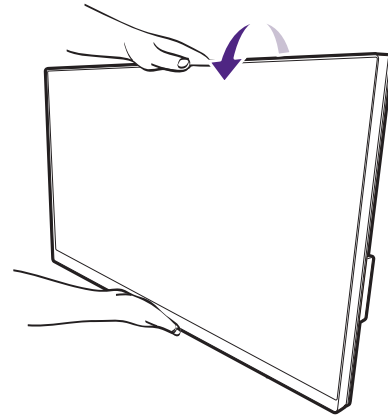




照明の反射を最小限に留めるために、モニター的位置とスクリーンの角度を調整してください。



ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。ファインダーをスクリーン面に押し付けないようにします。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニターの上部和下部に手を置いてください。ディスプレイを強く押さえないでください。



8. 電源に接続し、電源をオンにします。

電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。



地域によって製品図が異なる場合があります。

モニターの電源ボタンを押して、モニターをオンにします。

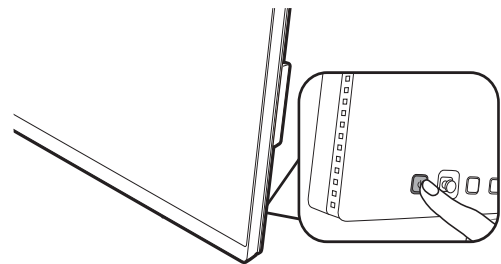
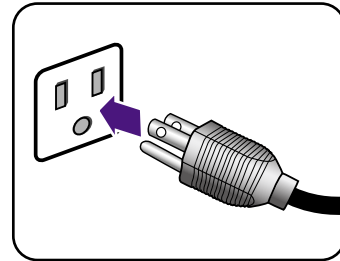
コンピュータもオンにします。



有効な入力アイコンは、モデル毎に異なります。



本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。



スタンドベースの取り外し（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）

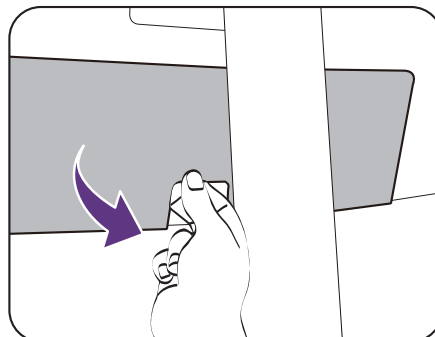
1. モニターと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニターの電源を切ります。モニター信号ケーブルを外す前にコンピュータの電源も切ります。

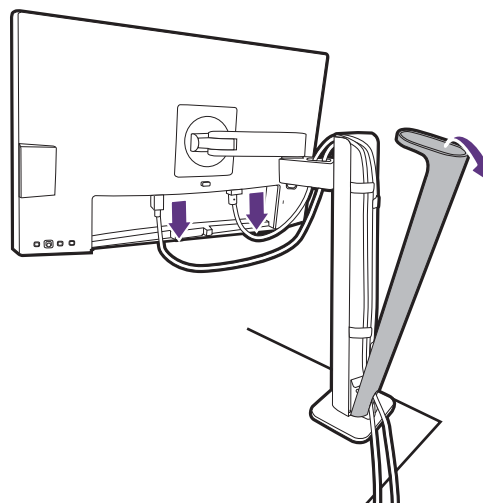
2. 裏蓋を外し、すべてのケーブルを抜きます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次に、モニターを傾けるとI/Oカバーを簡単に装着 / 取り外しができます。

図に示すように、後ろカバーを下の方から外します。

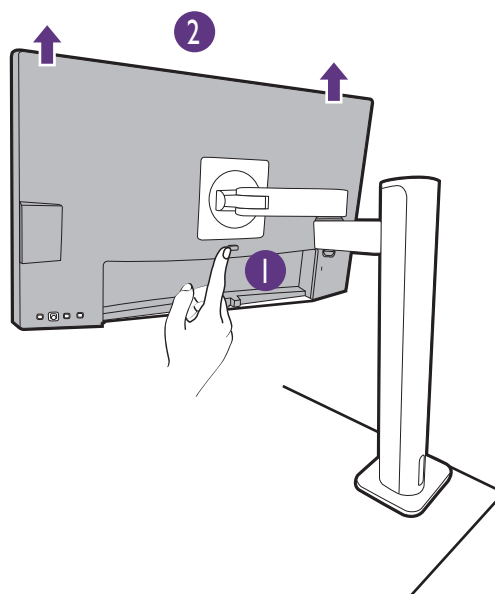


ケーブルマネジメントカバーを外します。すべてのケーブルを抜き、スタンドから取り外します。ケーブルマネジメントカバーを元に戻します。



3. モニターを取り外します。

クイックリリースボタンを押すとモニターが外れ、持ち上げるとモニターが外れます。

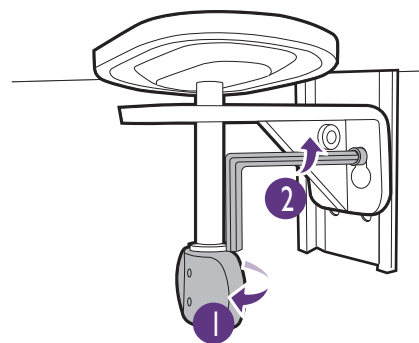
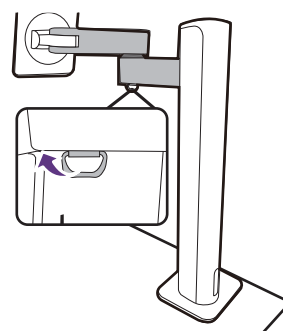


4. エルゴアームスタンドを取り外します。

ネジを緩めて、図のようにアップパーアームとエルゴアームスタンドを取り外します。

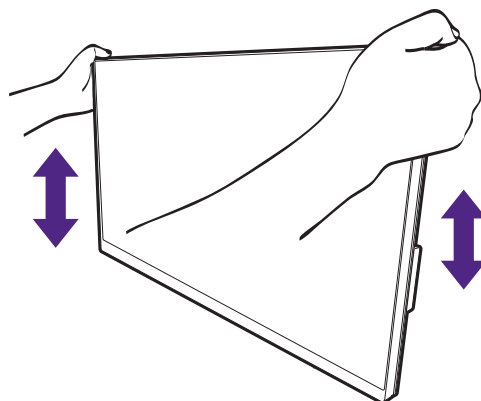


壁に取り付けるために、モニタースタンドが外してある場合は、41ページの「モニター取り付けキットの使用法（別売り）」および壁取り付け用ブラケット（別売り）の取り扱い説明書をお読みください。

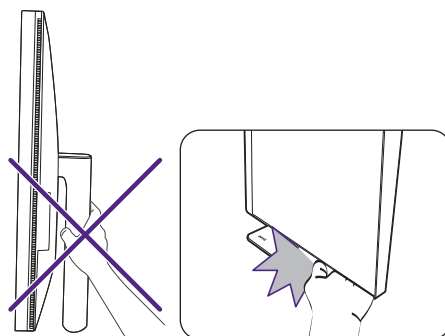


モニターの高さ調節

モニターの高さを調整するには、モニターの左右両側を持ち、モニターを下げたり、好きな高さに引き上げたりします。



- 高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニターの底面に手を添えると、モニターを上げ下げするときにケガをする恐れがありますので、これらの位置に手を添えないでください。この作業を行う場合は、お子様をモニターに近付けないでください。
- モニターがポートレートモードのときに高さ調整を行いたい場合は、ワイドスクリーンによりモニターを最低の高さまで下げることはできませんのでご注意ください。



モニターの回転

1. ディスプレイを回転させます。

モニターを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があります。デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから**画面の解像度**を選択します。**方向**で**ポートレート**を選択し、設定を適用します。



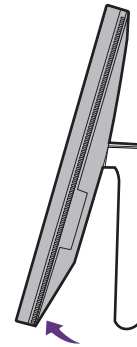
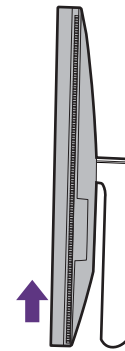
お客様の使用環境によって操作手順が異なります。詳細な手順等につきましてはご使用のパソコン本体のサポートセンターへご確認ください。

2. モニターを最高の高さまで上げ、傾斜させます。

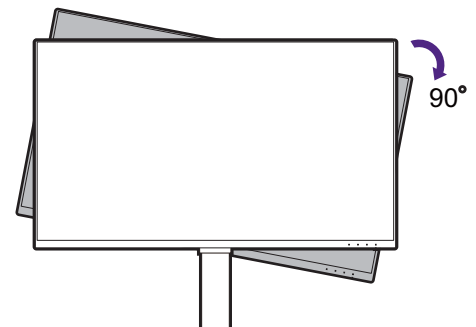
ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次にモニターを傾けます。



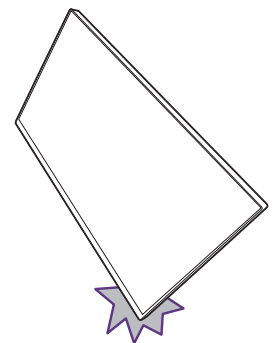
モニターを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニターが縦方向に伸びるはずですが、



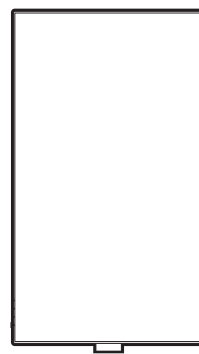
3. 図に示す通り、モニターを右回りに 90 度回転させます。



回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニターベースに当たらないように、まずモニターを最高の高さまで引き上げてください。モニターの周囲はケーブルを接続するのに十分なスペースを保ち、周囲には物を置かないでください。

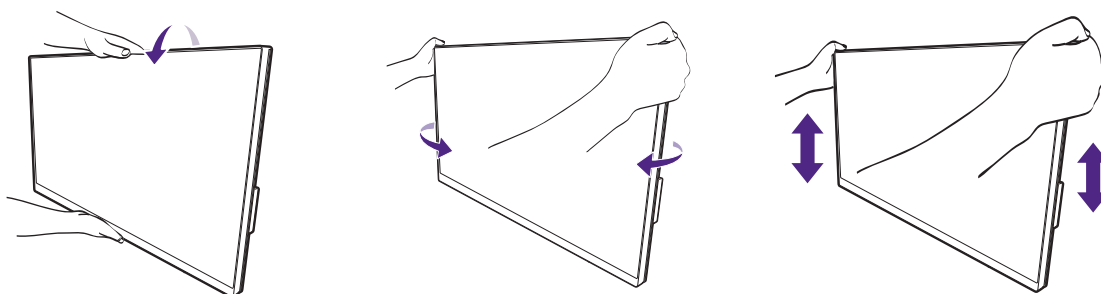


4. モニターを適切な角度に調整します。



表示角度の調整

上下、左右、高さを調整して、モニターを見やすい角度に合わせてください。製品の仕様については、ホームページをご覧ください。



モニター取り付けキットの使用法（別売り）

LCD モニターの背面には 100 mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニターを壁に設置することができます。モニター取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

- モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の素材と標準の壁取り付けブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。重量については、ホームページで仕様書をご覧ください。
- ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。

1. モニタースタンドを外します。

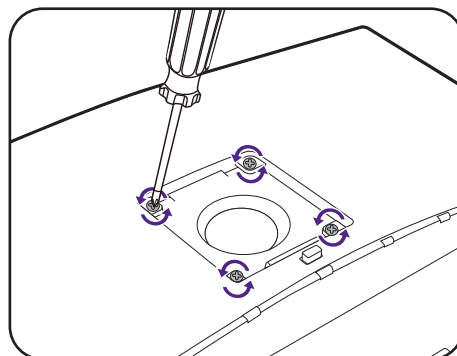
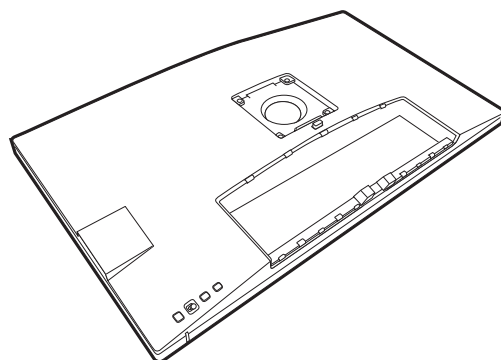
スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。説明したように、モニタースタンドを切り離します。

- 26 ページの「スタンドベースの取り外し（スタンド付きのモデル）」
- 36 ページの「スタンドベースの取り外し（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）」

プラスドライバーを使って後ろカバーをモニターに固定しているネジを外します。ネジを無くさないように、磁石式のドライバーをお使いになることをお勧めします。



将来モニタースタンドを使用する可能性がある場合は、モニターベース、スタンド、ネジは保管しておいてください。



2. 購入された壁取り付けブラケットの説明書をお読みになり、モニターを正しく設置してください。

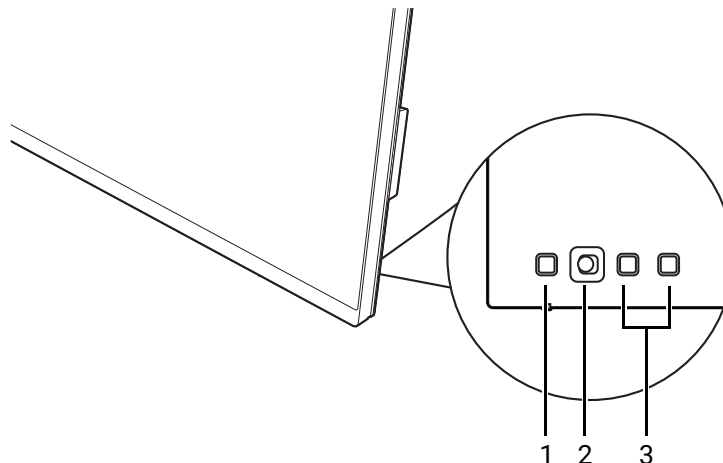


4 個の M4 x 10 mm ネジを使って、モニターを VESA 標準壁取り付けブラケットに取り付けます。すべてのネジがきつく、しっかりと締められているか確認してください。壁取り付けおよび安全のための注意については、専門の技術者、または BenQ サポートセンターにお問い合わせください。

モニターの調整

コントロール パネル

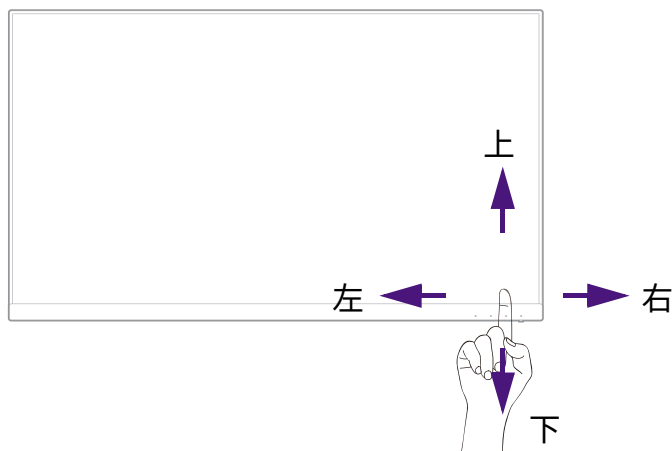
すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニターの設定はすべて OSD で行うことができます。




| 番号 | 名前 | 説明 |
|----|--------------|---|
| 1. | 電源キー | 電源をオン / オフします。 |
| 2. | 5 ウェイ コントローラ | 画面にアイコンで表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。詳細は、 43 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」 を参照してください。 |
| 3. | カスタム キー | 画面に表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。それぞれのキーの右側にあります。詳細は、 45 ページの「ホットキーを使う」 を参照してください。 |

5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作

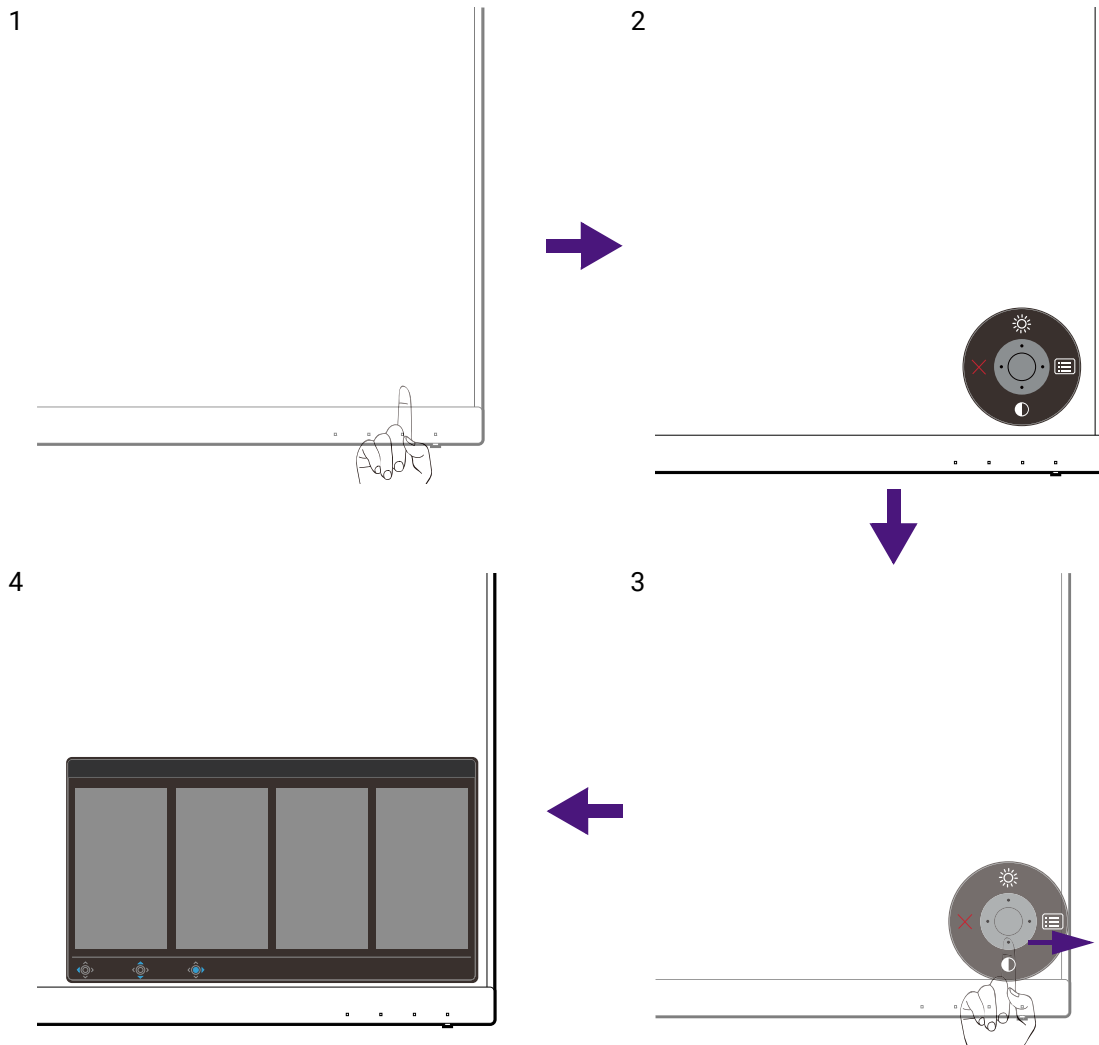
5 ウェイ コントローラはモニターの背面にあります。モニターの前に座り、画面のアイコンが示す方向にコントローラを動かしてメニューをナビゲートしたり操作したりします。




| OSD アイコン | 5 ウェイ コントローラの操作 | 機能 |
|-------------------------|------------------------|--|
| (メニューが有効でないとき) | | |
| 該当なし | 5 ウェイ コントローラを押す | <ul style="list-style-type: none"> • (ビデオケーブルを接続しない) 映像信号選択メニューを有効にします。 • (ビデオケーブルを接続する) ホットキーメニューを有効にします。 |
| (映像信号選択メニューが有効になっているとき) | | |
| | 5 ウェイ コントローラを任意の方向に動かす | 選択したい入力信号に切り替えます。有効な入力アイコンは、モデル毎に異なります。 |
| (ホットキーメニューが有効なとき) | | |
| | 右に移動 | メインメニューが有効になります。 |
| | 上に移動 | 輝度を調整します。 |
| | 下に移動 | コントラストを調整します。 |
| | 左に移動 | ホットキーメニューを終了します。 |
| (メインメニューが有効になっているとき) | | |
| | 押す | 選択肢を確定します。 |
| | 右に移動 | <ul style="list-style-type: none"> • サブメニューが開きます。 • 選択肢を確定します。 |
| | 上に移動 | <ul style="list-style-type: none"> • 前のメニュー アイテムに戻ります。 • 上 / 設定を上げます。 |

| OSD アイコン | 5 ウェイ コントローラの操作 | 機能 |
|---|-----------------|---|
|  | 下に移動 | <ul style="list-style-type: none"> • 次のメニュー アイテムに戻ります。 • 下 / 設定を下げます。 |
|  | 左に移動 | <ul style="list-style-type: none"> • 前のメニューに戻ります。 • OSD を終了します。 |

すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニターの設定はすべて OSD で行うことができます。選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。



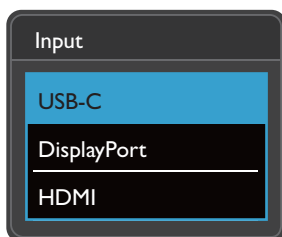
1. 5 ウェイ コントローラを押します。
2. するとホットキー メニューが表示されます。上向きアイコンと下向きアイコンは特定の機能用です。
3.  (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。
4. メインメニューでメニューの下のほうにあるオンスクリーン アイコンに従って、調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、[57 ページの「メインメニューのナビゲート」](#)を参照してください。



ホットキーを使う

カスタムキー（5ウェイコントローラの横）は、あらかじめ定義しておいた機能に直接アクセスできるホットキーとして機能します。これらのキーのデフォルト設定は別の機能に変更することができます。


ホットキー機能にアクセスする

1. モニター背面にあるカスタムキーのどれかを押します。
2. 有効にしたい機能のキーを繰り返し押しするとリストのオプションが順番に有効になります。

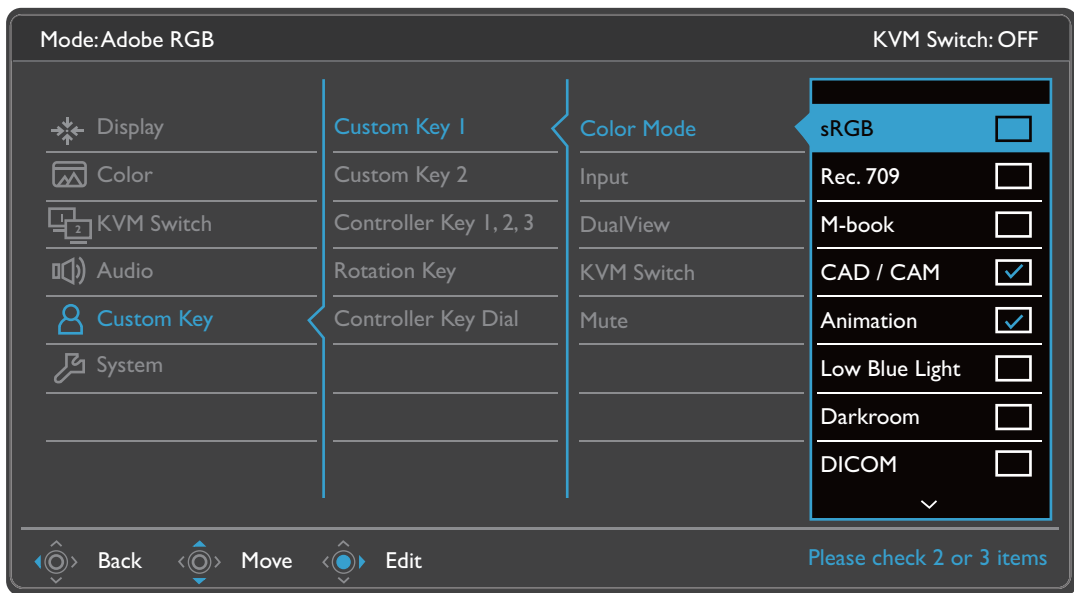


| OSD アイコン | 機能 |
|---|--|
|  | デフォルトでは カラーモード オプションのリストに切り替わります。 デフォルト設定を変更するには、 45 ページの「ホットキーのカスタマイズ」 を参照してください。 |
|  | デフォルトでは 入力（信号入力） オプションのリストに切り替わります。 デフォルト設定を変更するには、 45 ページの「ホットキーのカスタマイズ」 を参照してください。 |

ホットキーのカスタマイズ

1. 5ウェイコントローラを押すとホットキーメニューが開きます。
2. （メニュー）を選択してメインメニューを開きます。
3. **カスタムキー**を選択します。
4. 変更したいカスタムキーを選択します。**カスタムキー1**か**カスタムキー2**のいずれかです。
5. サブメニューでカテゴリーを選択します。

6. そのカテゴリ内で、このキーでクイックアクセスするアイテムを最高3個選択します。



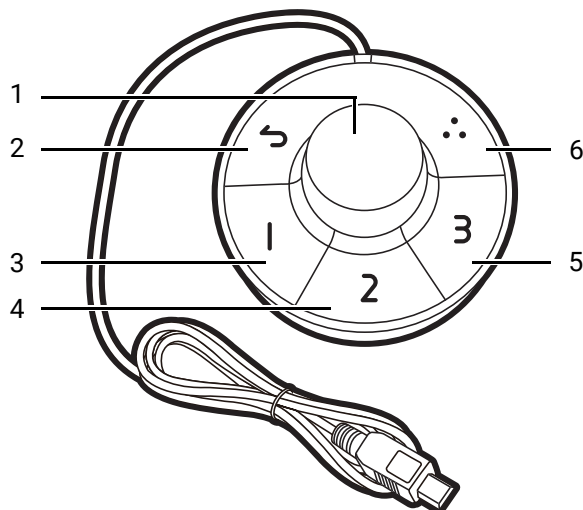
- OSD = オンスクリーン ディスプレイ。
ホットキーはメインメニューが表示されていないときにしか使用できません。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。
- OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

Hotkey Puck G2 とその基本操作

コントロールキーとは別に、Hotkey Puck G2 を使用しても OSD メニューに素早くアクセスすることができます。



- 使用する前に、Hotkey Puck G2 をモニターに接続する必要があります。セクション 23 ページの「モニターに Hotkey Puck G2 を接続します。」の手順にしたがってください。
- Hotkey Puck G2 は BenQ LCD モニター専用設計されており、対応モデルでしかご使用いただけません。Mini USB ポートでこれを他のデバイスに接続しないでください。




| 番号 | 名前 | 説明 |
|----|------------|--|
| 1 | ダイヤルキー | <p>(メニューが何も表示されない場合)</p> <ul style="list-style-type: none">• デフォルトでは、左または右に回して輝度を調整するように設定されています。デフォルト設定を変更するには、3 秒間押しとセットアップメニューが開きますので設定を変更してください。または、モニターのカスタム キー > コントローラキー ダイヤルを選択します。• メインメニューが開きます。 <p>(メニューで)</p> <ul style="list-style-type: none">• 右に回すとメニューを下にスクロールします。• 左に回すとメニューを上スクロールします。• 選択を確定します。 <p>(コントロールバーが表示されている場合)</p> <ul style="list-style-type: none">• 右に回すと値が上がります。• 左に回すと値が下がります。 |
| 2 | リターンキー | <ul style="list-style-type: none">• 前のメニューに戻ります。• OSD を終了します。 |
| 3 | コントローラキー 1 | <ul style="list-style-type: none">• デフォルトでは、押しと M-book (カラーモード) に切り替わるように設定されています。• 3 秒間押しとセットアップメニューが開きますので設定を変更してください。または、48 ページの「Hotkey Puck G2 のコントローラキーをカスタマイズする」をお読みください。 |

| 番号 | 名前 | 説明 |
|----|------------|---|
| 4 | コントローラキー 2 | <ul style="list-style-type: none"> • sRGB (カラーモード) に切り替わります。 • 3 秒間押すとセットアップメニューが開きますので設定を変更してください。または、48 ページの「Hotkey Puck G2 のコントローラキーをカスタマイズする」をお読みください。 |
| 5 | コントローラキー 3 | <ul style="list-style-type: none"> • ブルーライト軽減 (カラーモード) に切り替わります。 • 3 秒間押すとセットアップメニューが開きますので設定を変更してください。または、48 ページの「Hotkey Puck G2 のコントローラキーをカスタマイズする」をお読みください。 |
| 6 | ローテーションキー | <ul style="list-style-type: none"> • 繰り返し押すと、選択可能な設定が順番に切り替わります。 • 3 秒間押すとセットアップメニューが開きますので設定を変更してください。または、モニターのカスタムキー > ローテーションキーを選択します。 |

Hotkey Puck G2 のコントローラキーをカスタマイズする

Hotkey Puck G2 のキーは特定の機能向けに設計されています。デフォルト設定は自由に変更できます。

1. 5 ウェイ コントローラを押すとホットキー メニューが開きます。
2.  (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。
3. **カスタム キー**を選択します。
4. **コントローラキー 1, 2, 3**を選択します。
5. サブメニューでカテゴリーを選択します。
6. そのカテゴリー内で、Hotkey Puck G2 のコントローラキーでクイックアクセスするアイテムを最高 3 個選択します。選択したアイテムの番号は、オプションが割り当てられたコントローラキーを意味します。



または、Hotkey Puck G2 のキーを 3 秒間押すとセットアップメニューが開きますので設定を変更してください。

Display Pilot でディスプレイを操作する

Display Pilot ソフトウェアはディスプレイを操作するための代替ツールです。Support.BenQ.com からダウンロードしてインストールしてください ([3 ページの「製品サポート」](#)を参照してください)。

次のような主要機能があります：

- メイン機能のコントロール / モニターの構成設定です。
- モニターと共にディスプレイも回転させるように自動設定します ([39 ページ](#)を参照してください)。
- モニターの機能を拡張するための追加ツールです。

詳細は、 [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) で **Display Pilot** マニュアルをお読みください。



対応するオペレーティングシステムについては、 [BenQ ウェブサイト](https://www.benq.com) をご覧ください。

Mac シリーズ製品との連携


Mac シリーズ製品にモニターを接続することができます。互換性は、お使いの Mac 製品に搭載されている Mac チップの性能と仕様に依存し、予告なく更新されることがありますのでご注意ください。

- モニターと Mac 製品を接続する場合は、Thunderbolt 3 または USB-C™ ケーブル（Mac とモニターの両方で利用可能な場合）で直接接続すると、良好な画質を得ることができます。詳細は、 [22 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」](#) を参照してください。
- 色の違いを少なくするために、モニターのピクチャーモード（カラーモード）を **M-book、Display P3、DCI-P3**、モード（利用可能な場合）に設定することをお勧めします。詳細は、 [60 ページの「カラーモード」](#) を参照してください。
- お使いのモニターが特定の BenQ ソフトウェアに対応している場合は、 www.BenQ.com のソフトウェアウェブページで、お使いの Mac 製品で動作するかどうかを確認してください。

Mac 製品との互換性についてのお問い合わせは、 [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) にアクセスして、 **FAQ** または **知識** から関連するトピックを探してください。

画面モードの調整

16:9 以外の縦横比、購入されたモデルのパネルサイズとは異なるサイズの画像を表示するには、モニターで画面モードを調整します。

1. 5 ウェイ コントローラを押してホットキーメニューを開き、  (**メニュー**) を選択してメインメニューを開きます。
2. **表示 > 画面モード** を選択します。
3. 適切な画面モードを選択してください。変更した設定は直ちに反映されます。

適切なカラーモードの選択

このモニターには、さまざまな画像タイプに合ったカラーモードがいくつか用意されています。カラーモードの種類については、 [60 ページの「カラーモード」](#) をご覧ください。

カラー設定 > カラーモード を開きカラーモードを選択します。



コンピュータのカラープロファイル（ICC プロファイル）は、必ずしもお使いのモニターに最適であるとは限りません。忠実に色を再現するためには、コンピュータの ICC プロファイルを変更してコンピュータとモニターが最高の状態で作動するようにしてください。手順については、 [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) を開き、お使いのモデルの **ICC プロファイル インストールガイド** をお読みください。または、 **Display Pilot** ([48 ページ](#)) から **ICCsyntax** 機能を有効にしてください。詳細は、 **Display Pilot** のマニュアルを参照してください。

2 台以上のビデオソースで 1 組のキーボードとマウスを共有する (CPU 切替器)

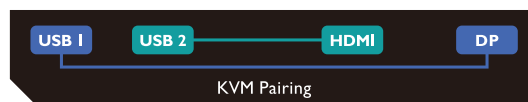
2 台以上のコンピュータシステムをお持ちであれば、それぞれのディスプレイを操作するために複数セットのキーボードとマウスを行ったり来たりするのは疲れるはずで
す。CPU 切替機能と 1 台のモニターに十分な数の I/O ポートがあれば、1 つのキー
ボードとマウスだけで作業を行えるようになります。接続が適切に確立されていれ
ば、設定した入力に切り替わり、同時にキーボードとマウスコントロールも切り替わ
ります。

KVM 接続の確立

1. 下に説明するとおり、またはモニター背面にある I/O ポート近くのラベルに示され
ているとおり、2 台以上のビデオソースに適切に接続してください。

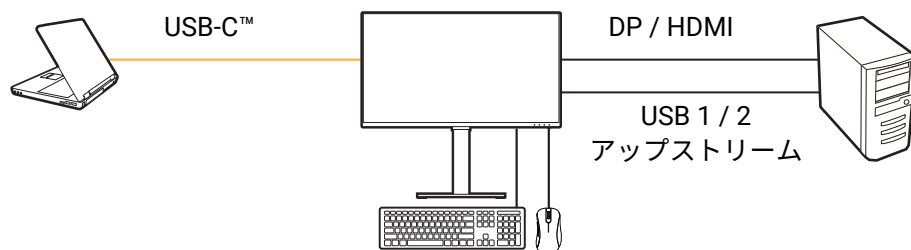
- USB-C™ 接続
- DisplayPort および USB 1 (アップストリーム) 接続
- HDMI および USB 2 (アップストリーム) 接続

I/O ポート近くのラベル

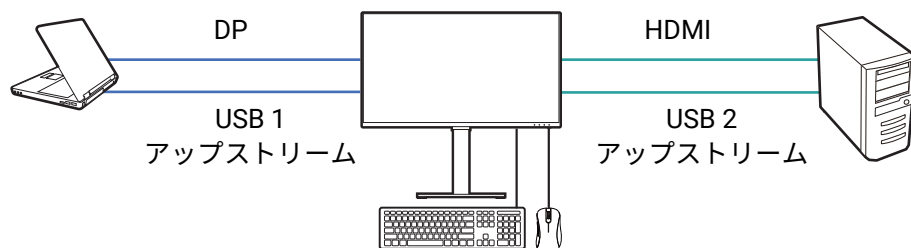


2. キーボードとマウスをモニターの USB ポートに接続します。コンピュータに
USB-C™ ポートが装備されているかどうかにより、接続は変わります。次の図を参
照してください。

(コンピュータに USB-C™ ポートが装備されている場合)



(コンピュータに USB-C™ ポートが装備されていない場合)

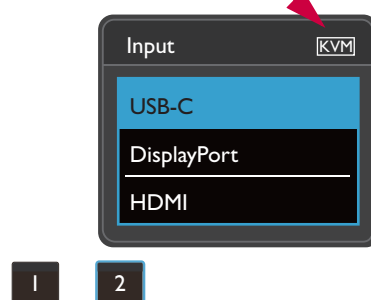
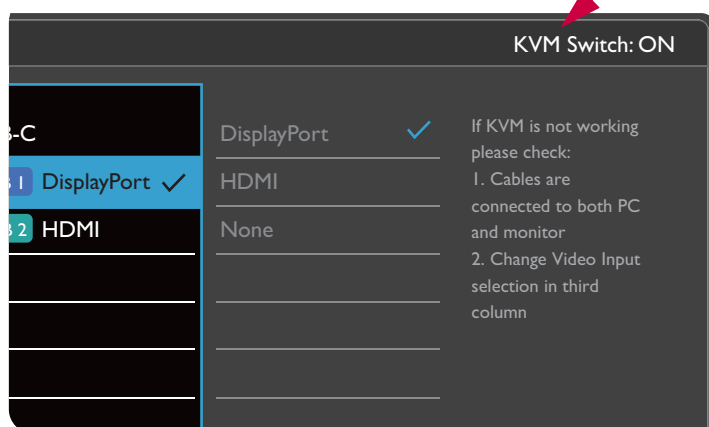


一部の図では、USB-C™ ポートが装備されたコンピュータを使用した場合が示されています。コン
ピュータに USB-C™ ポートが装備されていない場合は、上記の手順に従って正しく接続を行ってくだ
さい。

3. 2組以上の接続が正しく確立されている場合は、自動的に **CPU 切替器**機能が有効になります。OSD メニューから状態を知ることができます。

メインメニューに KVM の状態が表示されます。

入力ホットキーメニューには KVM アイコンが表示されます。

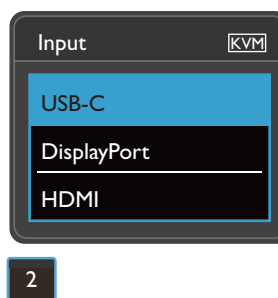
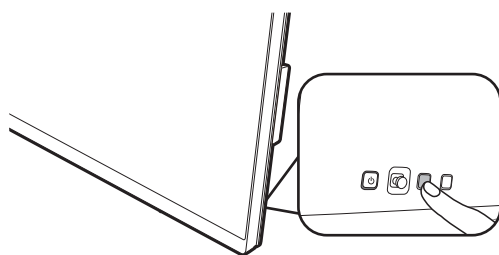


別のビデオソースに切り替える

KVM が正しく接続されると、デフォルトのホットキーを押して選択可能な KVM ソースを簡単に切り替えることができます。KVM を切り替える方法は、ソースの接続によって異なります。53 ページ から素早く切り替えるためには、異なるシナリオにおける手順を参照することをお勧めします。

モニター背面にあるカスタムキー 2 で切り替える

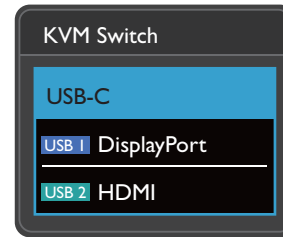
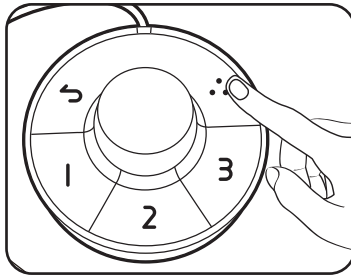
デフォルトにより、カスタムキー 2 は **入力 (信号入力)** に設定されています。CPU 切替器が有効になっている場合は、**入力ホットキーメニュー**に KVM アイコンが表示されます。キーを繰り返し押し、選択したい選択肢が表示されるまでオプションを切り替えます。



カスタムキー 2 が **CPU 切替器**に設定されている場合は、スイッチもお使いいただけます。2 台のモニターとコンピュータがある場合は、54 ページの「シナリオ C: 2 台のコンピュータと 2 台のモニターで作業をする場合」で説明してあるとおり **CPU 切替器**ホットキーを使って KVM ソースを切り替える必要があります。

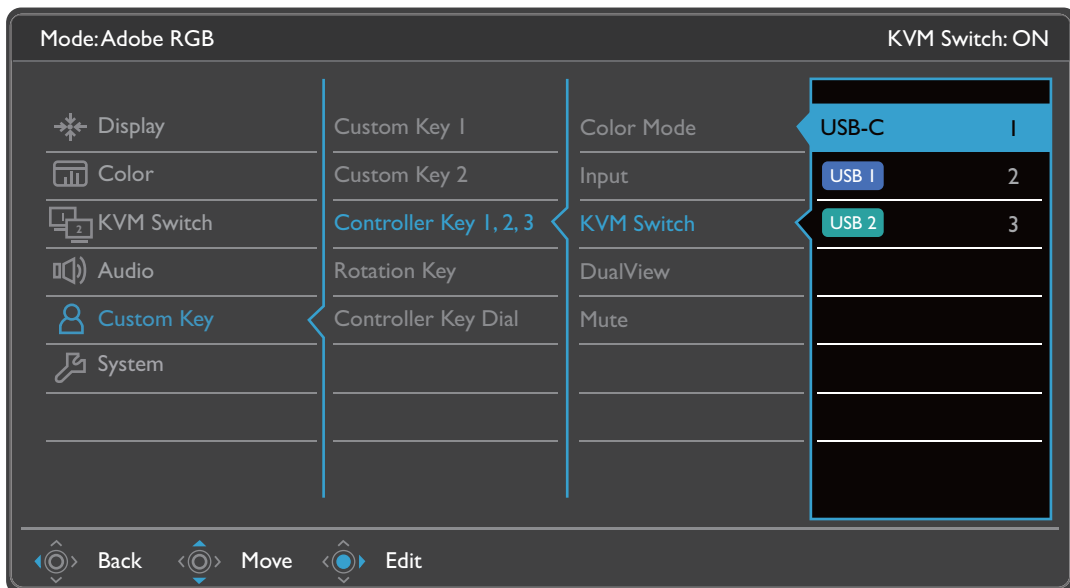
Hotkey Puck Gen 2 のローテーションキーで切り替える

デフォルトにより、ローテーションキーは **CPU 切替器** に設定されています。キーを繰り返し押し、選択したい選択肢が表示されるまでオプションを切り替えます。



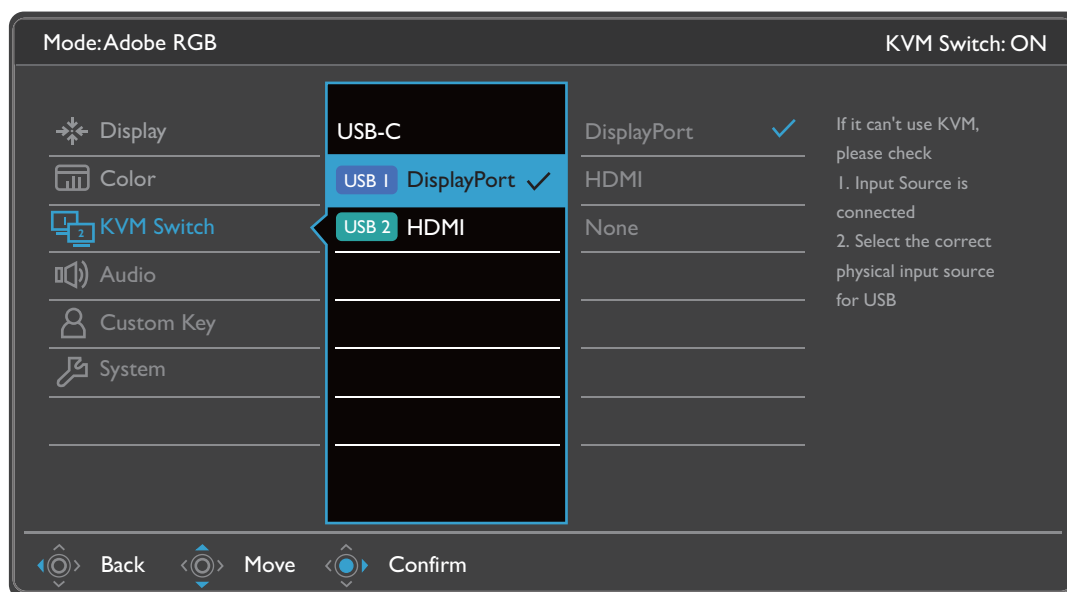
Hotkey Puck Gen 2 のコントローラキーから切り替える

48 ページの「Hotkey Puck G2 のコントローラキーをカスタマイズする」に説明してあるとおり、**コントローラキー 1, 2, 3** を **CPU 切替器** にカスタマイズします。KVM 接続が正しく確立されている場合は、コントロールキーを押すと好きな KVM ソースに切り替えることができます。



CPU 切替器メニューから切り替える

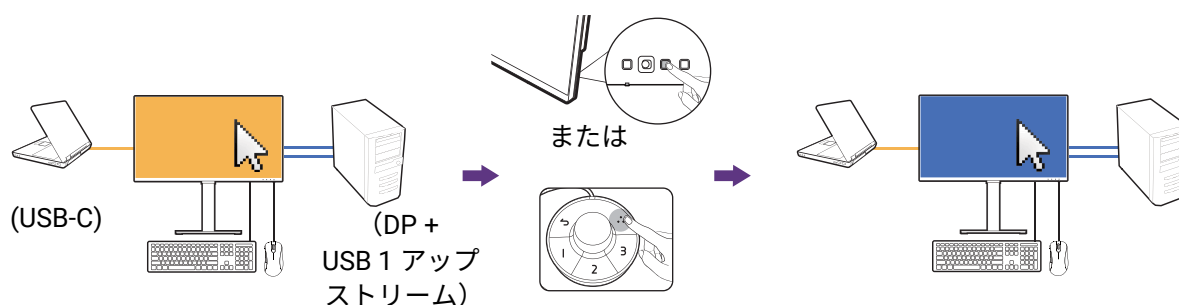
手動で CPU 切替器を選択してソースを選択します。



シナリオ A：2 台のコンピュータと1台のモニターで作業する場合

USB-C 作動中

DP に切り替え

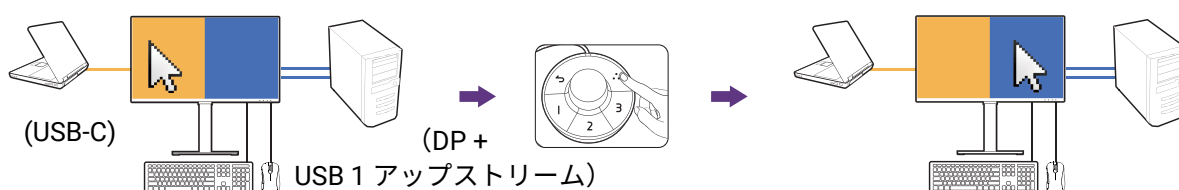


1. 50 ページの「KVM 接続の確立」に説明してあるとおり、ケーブルを接続して KVM 機能を有効にします。
2. システム > 電源復帰を選択し、オンに設定されていることを確認してください。
3. カスタムキー 2（デフォルトで入力のホットキーに設定）を押すか、Hotkey Puck Gen 2（デフォルトで CPU 切替器のホットキーに設定）のローテーションキーを押して切り替えます。

シナリオ B：PBP モードを使用する

USB-C 作動中

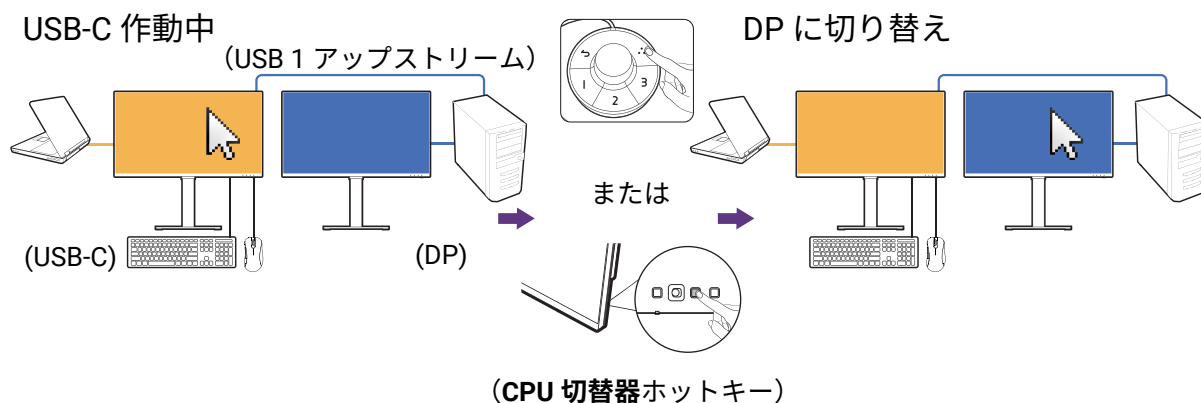
DP に切り替え



1. 50 ページの「KVM 接続の確立」に示すとおり、ケーブル接続を行います。

2. システム > 電源復帰を選択し、オンに設定されていることを確認してください。
3. 信号入力 > PBP を選択し、PBP 機能を有効にします。54 ページの「同時に 2 つの入力源を表示する (PIP/PBP)」の指示に従って信号を正しく選択します。
4. Hotkey Puck Gen 2 (デフォルトで CPU 切替器のホットキーに設定) のローテーションキーを押して切り替えます。

シナリオ C：2 台のコンピュータと 2 台のモニターで作業をする場合



1. 50 ページの「KVM 接続の確立」に示すとおり、ケーブル接続を行います。
2. システム > 電源復帰を選択し、オンに設定されていることを確認してください。
3. Hotkey Puck Gen 2 (デフォルトで CPU 切替器のホットキーに設定) のローテーションキーを押して切り替えます。ケーブルを接続した後は、Hotkey Puck Gen 2 を使用する代わりに CPU 切替器のホットキーとしてカスタムキーを設定できます。詳細は、45 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。

同時に 2 つの入力源を表示する (PIP/PBP)

スクリーン上に 2 つの入力源を同時に表示するには、ピクチャ・イン・ピクチャ (PIP) モードかピクチャバイピクチャ (PBP) モードに設定することができます。

PIP モードでの映像信号選択

初めてお使いになる場合は、表示 > PIP を選択して 5 ウェイ コントローラを押します。モニターは映像信号を USB-C™、DP、HDMI、および PIP モードでメイン信号として最初に使用できるディスプレイ、サブ信号としての 2 つ目の順番でスキャンします。入力信号が 1 つだけ検出された場合は、好きな映像信号を適切なケーブルに接続し、表示 > PIP > 副を開いてサブ信号を手動で選択します。表示 > PIP > 主ではメインの信号は手動でも変更できます。

このモニターは、2 つの入力信号の設定が手動で切り替えられるまでは、将来も同じ設定を使用できるように 2 つとも保存します。

詳しい調整については、表示をご覧ください。

HDR テクノロジーを使う



本書に記載する HDR 対応デバイスおよびコンテンツに関する情報は、制作段階における最新の情報です。最新情報については、デバイスの製造元やコンテンツプロバイダーにお尋ねください。

HDR 機能を有効にするには、互換性のあるプレーヤーとコンテンツが必要です。

1. FHD/4K HDR プレーヤーの準備ができていないか確認してください。次の名前と解像度のプレーヤーがサポートされています。FHD モニターでは 4K コンテンツはリサイズされ、1920 x 1080 で表示されます。

| | |
|-------------------------------------|---|
| FHD/4K の通称 (製造元ごとに異なります) | FHD、4K、4K Ultra HD、UHD、UHD 4K、Ultra HD、2160p |
| HDR10 で一般的に使用される名前 (製造元ごとに異なります) | HDR Premium、High Dynamic Range、HDR、Ultra HD Premium |

2. HDR コンテンツがあるか確認してください。
3. プレーヤーとモニターが適切なケーブルで接続されているか確認してください：
 - 付属の HDMI / DP / DP - mini DP ケーブル / USB-C™ ケーブル / Thunderbolt™ 3 (該当する場合)
 - HDMI High Speed または HDMI Premium 認証の HDMI ケーブル
 - DisplayPort 認証の DP / DP - mini DP ケーブル
 - DisplayPort 代替モード機能を備えた公式 USB-C™ ケーブル

HDR 機能を有効にする

55 ページの「HDR テクノロジーを使う」の指示に従い、入力コンテンツが HDR に対応している場合は、OSD メッセージ **HDR: オン** が画面に表示されます。コンテンツプレーヤーおよびコンテンツが HDR に対応しており、HDR 機能が有効になっていることを意味しています。モニターは ST2084 規格に基づいて HDR コンテンツを処理します。

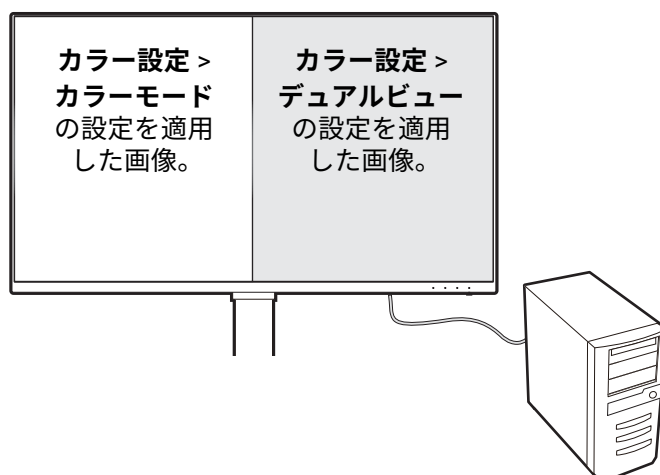
接続が完了し、OSD メッセージが何も表示されない場合は、コンテンツプレーヤーかコンテンツのいずれか、またはその両方が HDR 互換ではありません。モニターは非 HDR コンテンツに対して最後に選択したカラーモードのままです。

同一画像で異なる色設定で作業をする (デュアルビュー)


デュアルビューは、画像を 2 つのカラーモードで横に並べて表示するため、効率よく編集することができます。

1. **カラー設定 > カラーモード** からカラーモードを 1 つ選択します。
2. **カラー設定 > デュアルビュー** を選択します。スクリーンは 2 つのウィンドウに分割され、選択したカラーモードは左側のウィンドウに適用されます。

3. 選択できるカラーモードは、右側のウィンドウにリストされます。設定を適用したいモードを選択してください。



メインメニューのナビゲート

モニターの設定はすべて OSD (On Screen Display) で行うことができます。5 ウェイコントローラをどれでも押してホットキーメニューを開き、 (メニュー) を押してメインメニューを開きます。詳細は、[43 ページの「5 ウェイコントローラと基本メニュー操作」](#)を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



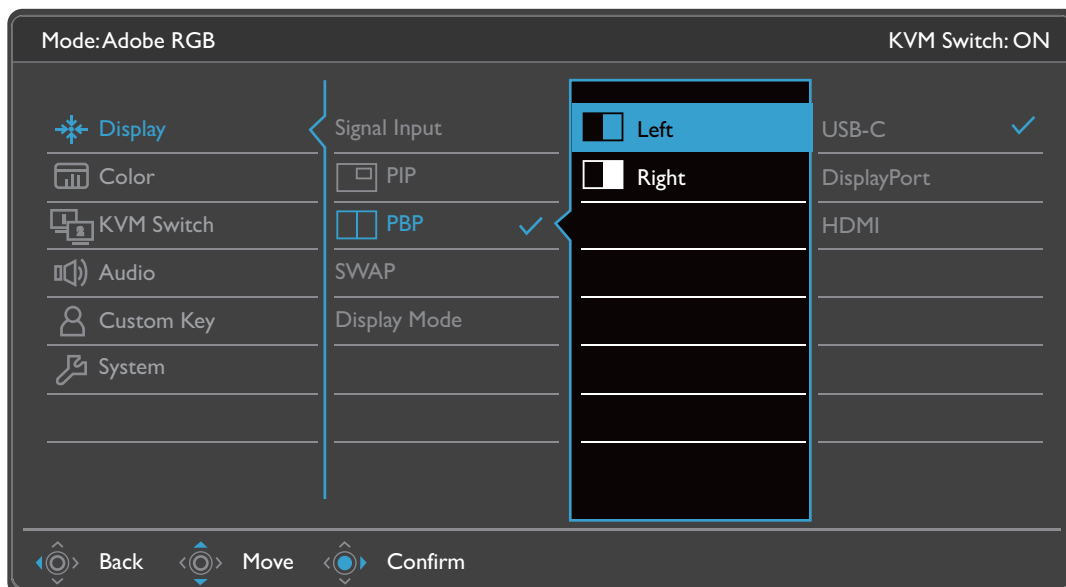
OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、[システムと OSD 設定の 70 ページの「言語」](#)を参照してください。












各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- [58 ページの「表示メニュー」](#)
- [60 ページの「カラー設定メニュー」](#)
- [65 ページの「CPU 切替器メニュー」](#)
- [66 ページの「オーディオメニュー」](#)
- [67 ページの「カスタム キーメニュー」](#)
- [69 ページの「システムメニュー」](#)






表示メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



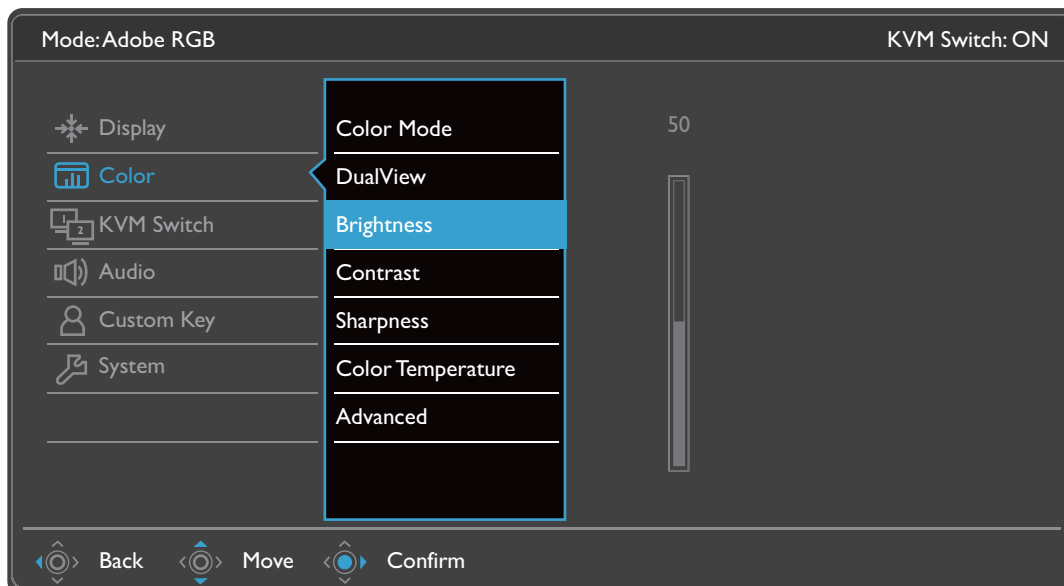
1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って表示を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。












| アイテム | 機能 | 範囲 |
|------|-------------------------------|------------------------------------|
| 信号入力 | ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。 | • USB-C • DisplayPort • HDMI |

| アイテム | 機能 | 範囲 | |
|---------|---|--|--|
| PIP | <p>PIP モードを設定します。2つの独立したビデオソースの画像も同時に画面に表示されます。</p> <p> PIP モードになっているときには、メインソースからのオーディオが出力されます。</p> <p> HDR 機能が有効になっているときには使用できません。</p> | | |
| | 主 | メインの映像信号を決定します。 | <ul style="list-style-type: none"> • USB-C • DisplayPort • HDMI |
| | 副 | PIP モードの2つめの映像信号を決定します。 | |
| | PIP サイズ | PIP モードでの内側の画面のサイズを決定します。 | <ul style="list-style-type: none"> • 小 • 中 • 大 |
| PIP の位置 | PIP モードでの内側の画面の位置を調整します。 | <ul style="list-style-type: none"> • 右上 • 左上 • 右下 • 左下 | |
| PBP | <p>2つの画像が横に並べて表示されるように PBP モードを設定します。左右の画面の映像信号をそれぞれ決定します。</p> <p> HDR 機能が有効になっているときには使用できません。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 左 • 右 | |
| スワップ | メインソースと2番目のソースの映像は、入れ替えることができます。 | | |
| 画面モード | <p>この機能は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。</p> <p> 入力信号によって、画面モードの中のオプションが変わります。</p> <p> カラーモードで行った選択によって、異なる画面モードオプションが設定されます。設定は必要に応じて変更してください。</p> | | |
| | 全画面 | 縦横比が 16:9 の画像に適しています。 | |
| | 1:1 | 入力画像はサイズを変更せずに、そのまま最高解像度で表示されます。 | |





カラー設定メニュー


選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。




1. ホットキー メニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってカラー設定を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

| アイテム | 機能 | | 範囲 |
|--------|---------------------------------|---------------------------------------|----|
| カラーモード | 画面に表示する画像の種類に最もあったカラーモードを選択します。 | | |
| | sRGB | プリンター、デジタルカメラなどの周辺機器とのカラーマッチングを実現します。 | |
| | Rec. 709 | 標準 Rec. 709 で優れたカラーマッチングを実現します。 | |
| | M-book | モニターと接続した MacBook シリーズの視覚的差異を最小化します。 | |

| アイテム | 機能 | | 範囲 | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------|---|----------------|---------------|-----------------|-------------------|-------------|-------------------|-----------|--------------------|--|
| | CAD/CAM | CAD / CAM ソフトウェアを使用する場合、コントラストを向上させます。 | | | | | | | | | |
| | デザイン | 暗いシャドウのコントラストを向上させるため、デザインを制作するときに作業がしやすくなります。 | 0 ~ 10 | | | | | | | | |
| | ブルーライト軽減 | <p>目にブルーライトがあまり当たらないように、ディスプレイのブルーライトを軽減します。</p> <p> 各ブルーライト軽減モードの値は、標準モードと比較してブルーライトがどの程度軽減されるかを示しています。</p> <table border="1" data-bbox="627 689 1225 1061"> <tr> <td data-bbox="627 689 810 786">マルチメディア</td> <td data-bbox="810 689 1225 786">マルチメディア鑑賞用です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 786 810 882">ウェブサーフィン</td> <td data-bbox="810 786 1225 882">インターネット サーフィン用です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 882 810 978">オフィス</td> <td data-bbox="810 882 1225 978">ビジネスまたはオフィス環境用です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 978 810 1061">閲覧</td> <td data-bbox="810 978 1225 1061">電子書籍やドキュメントの閲覧用です。</td> </tr> </table> | マルチメディア | マルチメディア鑑賞用です。 | ウェブサーフィン | インターネット サーフィン用です。 | オフィス | ビジネスまたはオフィス環境用です。 | 閲覧 | 電子書籍やドキュメントの閲覧用です。 | |
| マルチメディア | マルチメディア鑑賞用です。 | | | | | | | | | | |
| ウェブサーフィン | インターネット サーフィン用です。 | | | | | | | | | | |
| オフィス | ビジネスまたはオフィス環境用です。 | | | | | | | | | | |
| 閲覧 | 電子書籍やドキュメントの閲覧用です。 | | | | | | | | | | |
| | 暗室 | 照明が暗いポストプロセッシング環境で画像を編集したり、表示したりするときに適しています。このモードは、シェードのシャープネスと鮮明さを向上させ、詳細をはっきりと表示します。 | | | | | | | | | |
| | HDR | <p>High Dynamic Range (HDR) テクノロジーで最高のカラーマッチングを実現します。</p> <p> PIP / PBP モードが有効に設定されている場合は使用できません。</p> <p> HDR コンテンツが検出された場合にのみ使用できます。</p> | | | | | | | | | |
| | DICOM | <p>DICOM 画像を見るときに使用します。医療用画像の表示にお勧めします。</p> <p> DICOM は医療における Digital Imaging and Communications の略語であり、医療用画像の取り扱い、保管、印刷、および送信の規格です。</p> | | | | | | | | | |
| | ユーザー | ユーザー定義による画像設定の組み合わせを適用します。 | | | | | | | | | |

| アイテム | 機能 | | 範囲 |
|---------|---|--|--|
| デュアルビュー | <p>選択したモードでスクリーン画像をプレビューします。有効にすると、スクリーンの左側にカラーモードから選択したモードで画像がプレビューされ、右側にここで指定したモードで画像が表示されます。</p> <p> HDR 機能が有効になっているときには使用できません。</p> | | <ul style="list-style-type: none"> • オフ • sRGB • Rec. 709 • M-book • CAD/CAM • デザイン • ブルーライト軽減 • 暗室 • DICOM • ユーザー |
| 輝度 | 明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。 | | 0 から 100 |
| コントラスト | 暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。 | | 0 から 100 |
| シャープネス | 被写体の鮮明さを調整します。 | | 1 から 10 |
| 色温度 | 6500K | ビデオや静止画を自然な色で表示させます。これは工場出荷時の標準値になっています。 | |
| | 9300K | 画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。 | |
| | 5000K | 画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。 | |
| | ユーザー設定 | 赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。次に R (赤)、 G (緑)、 B (青) メニューに進み、設定を変更します。この値を下げると画像の各色が変わります。(たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。) | <ul style="list-style-type: none"> • R (0~100) • G (0~100) • B (0~100) |
| 詳細設定 | ガンマ | トーンの輝度を調整します。 | <ul style="list-style-type: none"> • 1.8 • 2.0 • 2.2 • 2.4 • 2.6 • sRGB |

| アイテム | 機能 | | 範囲 | |
|------|--------|--|---------------------------------|--|
| | 色域 | sRGB | sRGB 対応周辺機器に適しています。 | |
| | | Rec. 709 | 標準 Rec. 709 で優れたカラーマッチングを実現します。 | |
| | | ネイティブ | ネイティブ色域で優れたカラーマッチングを実現します。 | |
| | 色相 | 人間の目に映る色の濃淡を調整します。 | | <ul style="list-style-type: none"> • R (0~100) • G (0~100) • B (0~100) • C (0~100) • M (0~100) • Y (0~100) |
| | 彩度 | 色の純度を調整します。 | | <ul style="list-style-type: none"> • R (0~100) • G (0~100) • B (0~100) • C (0~100) • M (0~100) • Y (0~100) |
| | ムラ補正機能 | <p>ディスプレイ エリア全体の明るさが均一になるように、ディスプレイ エリアの明るさを補間します。</p> <p> ただし、コントラストと輝度を高くしたい場合は、この機能をオフにしてください。</p> | | <ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ |
| | RGB 範囲 | カラスケールの範囲を決定します。接続したデバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。 | | <ul style="list-style-type: none"> • 自動 • 全画面 • 限定 |
| | 色のリセット | カスタム設定色をデフォルト値に戻します。 | | <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ |

各カラーモードで選択可能なメニューオプション

設定したカラーモードに応じて、色調整のために選択できるオプションは変わります。選択可能なオプションも入力毎に変わるため、このリストは参照用としてお使いください。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。

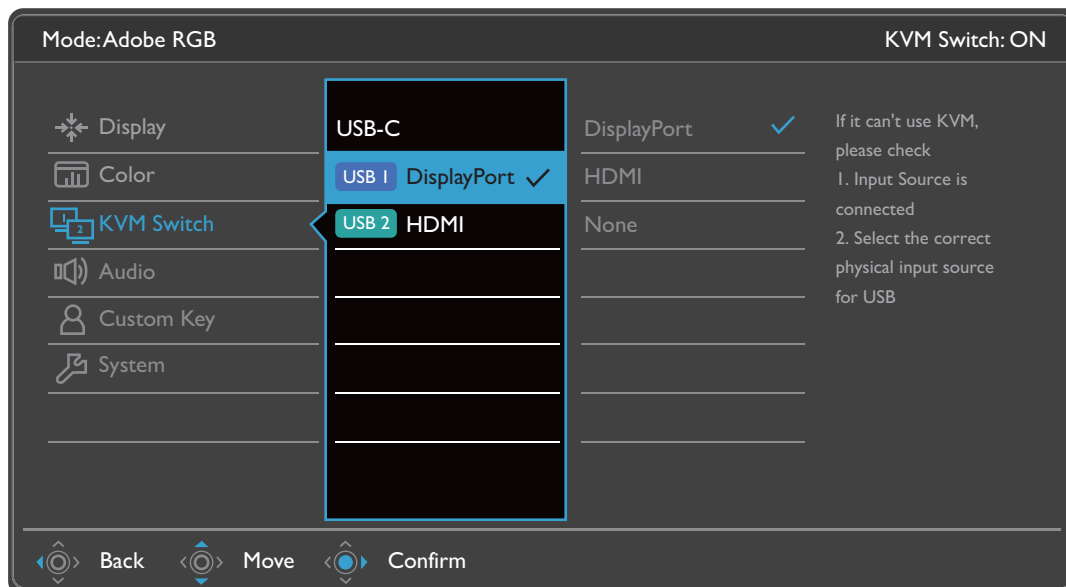













- V：すべてのオプションを調整できます。
- 不可：すべてのオプションは調整できません。

| カラーモード | 設定 | | | | | | | |
|--------------|----|--------|--------|-----|----|-----|----|----|
| | 輝度 | コントラスト | シャープネス | 色温度 | 色域 | ガンマ | 色相 | 彩度 |
| sRGB | V | 不可 | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| Rec. 709 | V | 不可 | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| M-book | V | V | V | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| CAD/CAM | V | V | V | 不可 | 不可 | V | 不可 | 不可 |
| デザイン | V | 不可 | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| ブルーライト 軽減 | V | V | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| 暗室 | V | V | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| HDR | V | V | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | V |
| DICOM | V | V | V | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| ユーザー | V | V | V | V | V | V | V | V |

CPU 切替器メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

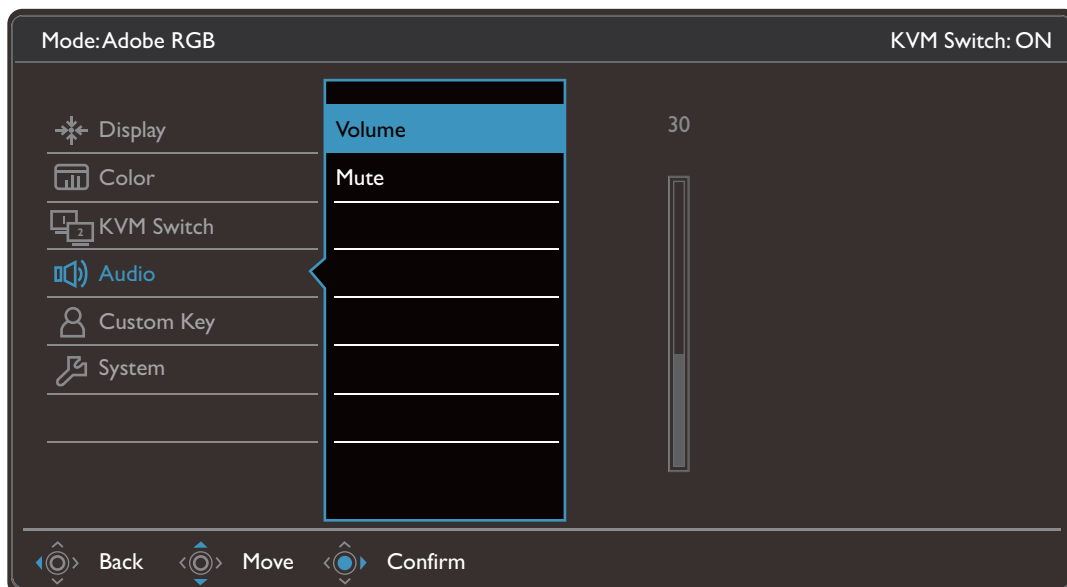













1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って **CPU 切替器** を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

| アイテム | 機能 | 範囲 |
|--------------|---|---|
| USB-C | USB-C™ ポートに接続した入力ソース / ディスプレイを操作するキーボードとマウスを切り替えます。 | |
| USB 1 | USB 1 アップストリーム / USB 2 アップストリーム ポートに接続した入力ソース / ディスプレイを操作するキーボードとマウスを切り替えます。この USB アップストリームポートが使用可能な映像信号は接続により異なります。50 ページの「2 台以上のビデオソースで 1 組のキーボードとマウスを共有する (CPU 切替器)」を参照してください。 CPU 切替器 機能が 54 ページの「シナリオ C : 2 台のコンピュータと 2 台のモニターで作業をする場合」で有効になっていると、なしは自動的に選択されます。 | <ul style="list-style-type: none"> • DisplayPort • HDMI • なし |
| USB 2 | | |

オーディオメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

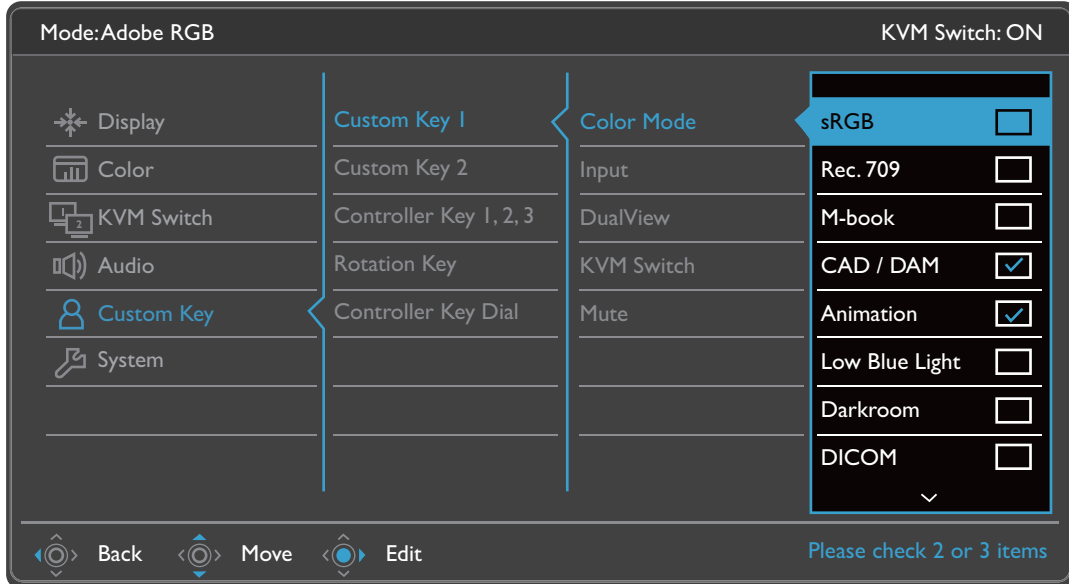













1. ホットキー メニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってオーディオを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

| アイテム | 機能 | 範囲 |
|------|----------------|------------|
| 音量調整 | 音量を調整します。 | 0 ~ 100 |
| ミュート | オーディオ入力を無音にします | ・オン ・オフ |

カスタム キーメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



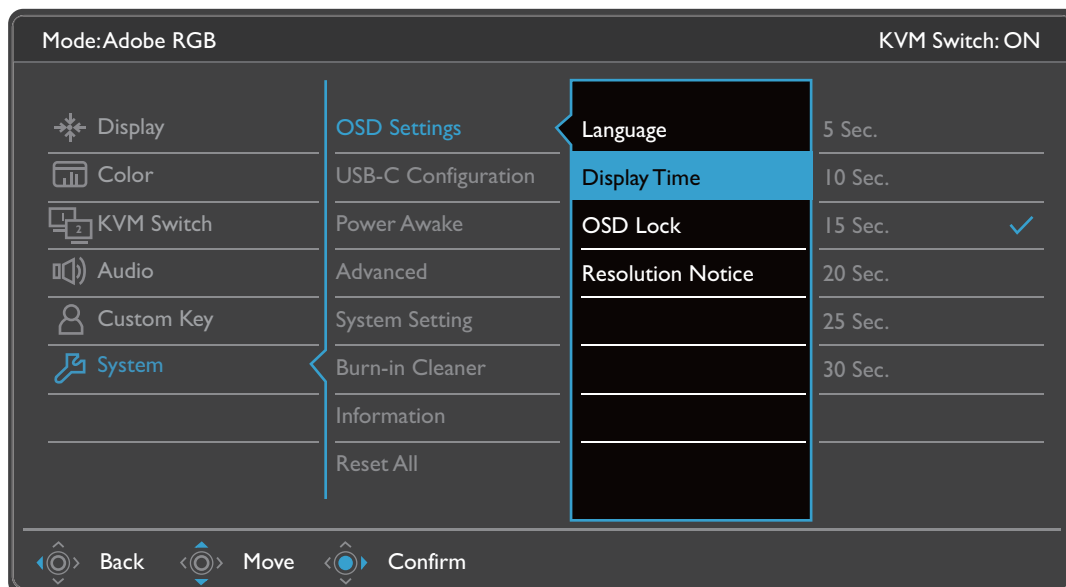
1. ホットキー メニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って **カスタム キー** を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。












| アイテム | 機能 | 範囲 |
|-----------|--|---|
| カスタム キー 1 | カスタムキー 1 でアクセスできる機能を設定します。先にカテゴリーを選択してから、このキーでアクセスできるオプションを最大で 3 個まで選択します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・カラーモード ・信号入力 ・デュアルビュー ・CPU 切替器 ・ミュート |
| カスタム キー 2 | カスタムキー 2 でアクセスできる機能を設定します。先にカテゴリーを選択してから、このキーでアクセスできるオプションを最大で 3 個まで選択します。 | |

| アイテム | 機能 | 範囲 |
|------------------------------|---|--|
| コントローラ キー 1, 2, 3 | <p>Hotkey Puck G2 のコントローラ キー 1 / 2 / 3 でアクセスできる機能を設定します。キーの位置については、47 ページの「Hotkey Puck G2 とその基本操作」をご覧ください。</p> <p>先にカテゴリーを選択してから、これらのキーでアクセスできるオプションを最大で 3 個まで選択します。選択したアイテムの横に表示される番号は、オプションが割り当てられたコントローラ キーを意味します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • カラーモード • 信号入力 • デュアルビュー • CPU 切替器 |
| ローテーション ンキー | <p>Hotkey Puck G2 のローテーションキーでアクセスできる機能を設定します。キーの位置については、47 ページの「Hotkey Puck G2 とその基本操作」をご覧ください。</p> <p>先にカテゴリーを選択してから、このキーでアクセスできるオプションを最大で 3 個まで選択します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • カラーモード • 信号入力 • デュアルビュー • CPU 切替器 • ミュート |
| コントローラ キー ダイアル | <p>Hotkey Puck G2 のダイアル キーでアクセスできる機能を設定します。キーの位置については、47 ページの「Hotkey Puck G2 とその基本操作」をご覧ください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 輝度 • コントラスト • 音量調整 |


システムメニュー



選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ホットキー メニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってシステムを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

| アイテム | 機能 | | 範囲 |
|--------|------------|--|--|
| OSD 設定 | 言語 | <p>OSD メニューの言語を選択します。</p>  <p>本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski • Český • Magyar • Română • Nederlands • Русский • Svenska • Português • العربية • 日本語 • 한국어 • 繁體中文 • 简体中文 |
| | 表示時間 | OSD メニューの表示時間を調整します。 | <ul style="list-style-type: none"> • 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒 |
| | OSD ロック | <p>モニター設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。</p>  <p>OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。</p> | |
| | 解像度についての注意 | モニターが新しい入力ソースを検出したときに、推奨する解像度を表示するかどうかを設定します。 | <ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ |

| アイテム | 機能 | | 範囲 |
|-----------------|--|---|---|
| USB-C 構成 | USB-C™ ポートを介して入力ビデオのリフレッシュレートを設定します。USB 転送速度は、USB-C™ テクノロジーの制限によりその都度変わります。 | | |
| | USB 3.2 Gen 1 | リフレッシュレート：3840 x 2160 @ 30 Hz USB 転送速度：5 Gbps | |
| | USB 2.0 | リフレッシュレート：3840 x 2160 @ 60 Hz USB 転送速度：480 Mbps | |
| 電源復帰 | デフォルトでは、この機能は無効に設定されており、スタンバイモード中は USB ポートへの電源は供給されません。 モニターがスタンバイモード中も USB ポートに電源を供給し続けるには、 オン に設定してください。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・オン ・オフ |
| 詳細設定 | DDC/CI | PC のソフトウェアからモニター設定を行うことができます。  Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニターコントロールからリモート診断を送信することができます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オン ・オフ |
| | 自動電源オフ | 省電力モードで、モニターが自動的にオフになるまでの時間を設定します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オフ ・10分 ・20分 ・30分 |
| | DisplayPort | データ転送用の適切な DP 規格を選択してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1.1 ・1.4 |
| | OSD キーの明度 | 電源キーの LED ライトの明るさを調整します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オン ・オフ |
| | AMA | LCD パネルのグレーレベルの応答時間を短縮化します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オフ ・高 ・プレミアム |

| アイテム | 機能 | 範囲 |
|---------|---|---|
| システム設定 | モニターのプロパティ設定を表示します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・信号入力 ・タイミング ・輝度 ・コントラスト ・色域 ・ピクセル暗号化 ・RGB 範囲 |
| 残像クリーナー | <p>静止画を長時間表示したままにしておくと、スクリーンの焼け付き、または残像が生じる場合があります。この機能を有効にすると、いくつかのデフォルトのパターンを表示することで線や影がスクリーンに現れる現象を軽減することができます。</p> <p> この機能を無効にするには、コントロールキーをどれでも押してください。</p> <p> スクリーンの焼け付きはパネルの特性によるものであり、製造上生じ得るものをご理解ください。スクリーンの焼け付きを防止するために、初めてお使いになるときには静止画を長時間表示し続けしないでください。コンピュータの電力管理機能を使用します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ |
| 情報 | 製品情報を表示します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・モデル名 ・バージョン ・使用時間 |
| すべて元に戻す | すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ |

トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

イメージング

- ? 画像がぼやける。
- ✓ ウェブサイトから **Resolution file (解像度ファイル)** をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ? ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合：
- ✓ ウェブサイトから **Resolution file (解像度ファイル)** をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。ネイティブ解像度を選択します。
- ? ピクセル エラーが表示される。
- 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合
- ✓
- LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
 - 電源のオン / オフを切り替え。
 - モニターの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
- ? 画像が不自然な色で表示される。
- ✓ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合。
カラー設定、詳細設定、色のリセットを選択した後、**はい**を選択して色を初期値に戻します。
- それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
- ? 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。
- ✓ ウェブサイトから **Resolution file (解像度ファイル)** をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ? モニターは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます：
- ✓ 異なる入力ソースの画像は、モニターの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力信号を最高の状態で表示するには、**画面モード**機能を使って入力信号に合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、59 ページの「**画面モード**」を参照してください。

- ❓ 画像が片側に寄ってしまう。
- ✔️ ウェブサイトから **Resolution file（解像度ファイル）** をダウンロードします（3 ページの「製品サポート」を参照してください）。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ❓ スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります。
- ✔️
 - ・省電力機能を有効にして、コンピュータとモニターを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
 - ・画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

電源 LED インジケータ

- ❓ LED は白かオレンジ色です。
- ✔️
 - ・LED が白く点灯しているときには、モニターの電源が入っています。
 - ・LED が白く点灯し、画面に「**範囲外です**」というメッセージが表示されている場合は、モニターがサポートしていない画面モードを使用しています。モニターがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。ウェブサイトから **Resolution file（解像度ファイル）** をダウンロードします（3 ページの「製品サポート」を参照してください）。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
 - ・LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
 - ・LED がオフであれば、電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。

OSD コントロール

- ❓ OSD コントロールにアクセスできません。
- ✔️ ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

OSD メッセージ

- ❓ コンピュータがブートアップする間、「**範囲外です**」というメッセージが表示される。
- ✔️ コンピュータがブートアップする間、「**範囲外です**」というメッセージが表示される場合は、オペレーティングシステムまたはグラフィックカードがコンピュータと互換性の問題があることを意味しています。システムが自動的にリフレッシュレートを調整します。オペレーティングシステムが起動するまでお待ちください。

オーディオ

- ? 外付けスピーカーから音が出ない。
- ✓
 - ・ヘッドフォンを外してください（モニターにヘッドフォンが接続されている場合）。
 - ・ヘッドフォンジャックが正しく接続されていることを確認してください。
 - ・外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
 - ・外付けスピーカーの音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。

CPU 切替器

- ? KVM ソースに切り替えた後、反応がありません。
- ✓ ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
 - ・ケーブルが正しく接続されており、**CPU 切替器**機能が有効になっていることを確認してください。詳細は、[50 ページの「KVM 接続の確立」](#)を参照してください。
 - ・モニターには電源を切る前の KVM ペアリング設定が保存されますので、変更した場合はすぐにはケーブル接続が認識されない場合があります。KVM ソースに対して正しい入力源が選択されているかどうかを確認するには、切り替えようとしている KVM ソースに応じて、**CPU 切替器 > USB 1** または **USB 2** をご覧ください。
 - ・Hotkey Puck Gen 2（デフォルトで **CPU 切替器**のホットキーに設定）のローテーションキーを押します。
 - ・**CPU 切替器**のホットキーがなく、切り替えようとしている KVM ソースのコンピュータがスリープモードになっている場合は、入力を休止中のコンピュータに切り替えて、キーボードまたはマウスを再度手動で休止中のコンピュータに接続し直してください。（Windows のみ）これが機能しない場合は、電源ボタンを押してコンピュータを復帰させてみてください。
- ? 入力が他のソースに切り替わっています。しかし、画像またはカーソルが表示されません。
- ✓ [シナリオ A：2 台のコンピュータと 1 台のモニターで作業をする場合](#) または [53 ページの「シナリオ B：PBP モードを使用する」](#) の場合は、**KVM > USB 1 / USB 2**（選択可能かどうかによります）から **なし** が選択されていることを確認してください。選択されている場合は、2 つ目のソースがないため何も表示されません。キーボードとマウスコントロールは他に切り替えられているため、現在のディスプレイを操作することはできません。このような場合は、**表示 > 信号入力** から手動でビデオ入力を選択してください。

USB-C™ 接続（USB-C™ ポート搭載モデル）

- ? USB-C™ 接続ではラップトップから音声も画像も出力されません。
- ✓ ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
 - ・USB-C™ ケーブルがモニターとラップトップに正しく接続されているか確認してください。詳細は、[22 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」](#)を参照してください。
 - ・入力映像が **表示 > 信号入力** で **USB-C** に選択されていることを確認してください。

それでも解決できないときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、support@benq.jp まで電子メールにてお問い合わせください。